(明治四十年十二月五日 第三種郵便物認可)
滿洲日報
夕刊　九月十四日
發行兼編輯人 鈴木猛二 印刷人 山口源三郎 發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

必ず御批准されると政府の態度益々強硬

樞府との對立上奏に至れば元老の支持を信ず

【東京特電十四日發】政府對樞府は補充計畫の數字提示問題で對立狀態に陷り樞府は政府が飽くまで補充計畫の具體的説明を拒絶するにおいては條約の審査を不可または返上、延期いづれにしてもこれを委員會から本會議に移し本會議において、これを可決すれば、この際政府も反對上奏をなして聖斷を仰ぐことになつてゐるので、若し樞府が審査不可を奉答すれば政府、樞府が同時に對立上奏がなさるゝ譯である、この際における政府の反對上奏の趣旨は

樞府の態度は事實上、條約の否決と同樣の意味を有するものであることを奏上してロンドン條約は國際協調の精神から觀ても國民負擔輕減の立場から觀ても御批准あらせらるべきものたることを具して聖斷を仰ぐことになつてゐるが、事こゝに至らば必ずや畏きあたりにおかせられては元老重臣に對しこれを御下問あらせらるゝであらう、從つてこの時における元老重臣の態度は最も注目されてゐるが、これに關し政府側の觀るところでは元老重臣方面の意向はロンドン條約は必ず御批准さるべきものとし、これを防止せんとする樞密院の態度は憲政の運用上、不可として寧ろ政府を支持するの態度に出るものと觀てゐる、殊に西園寺公の如きは條約は必ず御批准せらるべきものであるとの鞏固なる決意を抱き憲政の運用と國際協調の立場から飽くまで政府の主張に同意してゐることを信じ今度こそ樞府に對して強硬な態度で臨んでゐる譯である、從つて政府は事、對立上奏に立ち至らば條約は必ず御批准されるに相違ないとの確信から一歩も退かない決心を堅めてゐるが、一方樞府側も對立上奏の際には相當の確信ありと稱してゐるやうだから、その成行は注目されてゐる

反對上奏を決意

政府側の對策協議

【東京十四日發電通】樞府は十五日の委員會に依然強硬意見を持して臨むものと見られるので濱口首相は鎌倉の週末靜養も中止して十三日午後五時より鈴木翰長川崎法制局長官を招き二時間に亙りこれが對策準備につき協議を重ねたが、この結果

一、審議を休止するに於ては財界不安定、國際信義の上から期限を附して審議を要求す

一、樞府が飽くまで數字的説明を要求し資料提出を要求するは權限を越えたる處爲にして憲政の本義に顧みてその要求を拒絶する事

一、樞府は參考資料不提出の理由を以つて審議不能の擧に出でこれを奉答せんと傳へられてゐるがこれに對する政府の所信及び措置として樞府事務規定第三條に樞府は政府の提出する材料に依つて其の可否を決定し奉答すべきものである事を規定せられてゐる又憲法義解五十六條においては顧問官の職守は可否を檢替し必ず中正を持して隱避する處なく云々又同條にその(樞府)意見の裁決は一に至尊の聖裁によるのみ、との明文に基いて審議不能は消極的否決なりと解釋して其の處置を執るものである

一、卽ち政府は國務大臣として補弼の責任に於て反對上奏を行ひ該條約案の成立を期するもので此の態度方針は從來と何等變改する處はない

と云ふに決定したが事實問題として事態が反對上奏にまで及ぶ場合其の聖裁の如何に依つて政府又は樞府何れかに重大なる影響を與ふるものであるから恐らく樞府としても此の點は考慮を重ねてゐるものではないかと見られてゐる

可否決定に相當日數を要す

十五日に質問を打切つても直ちに態度は決らぬ

【東京十三日發電通】樞府委員會の形勢は混沌たる內に推移してをり、樞府側の硬論說も政府側の好轉說も何れも決定的ではない、而して樞府委員中にても山川、水町兩委員は贊成論者で金子子も必ずしも絕對反對ではないと言はれてゐる、委員外顧問官にては石井子、富井男、織田博士等も本案贊成論者で、若し決選投票となれば閣僚全部に之等贊成顧問官を加へて或は贊成論者の方が捷ちを制するやも知れぬと見られる程である、然し樞府の慣例として委員會も本會議も全會一致の態度を採るを常としてゐるから今回も決選投票とはなるまいが、可決にしても否決にしても、之に一致する迄には相當議論が府內に行はれるべく、十五日に質問打切となるも直に可否の態度を委員會が決する事は困難なるべく見られてゐる

審議不能に關して

岡田顧問官の反對意見

愈よ精査委員で決定すれば本會議で論戰

【東京特電十三日發】ロンドン條約の樞府精査委員會の大勢は既に去る十日の第九回委員會以來漸次審議不能に傾き今後政府側から進んで補充計畫並に減稅を中心とする財政計畫の準備を整へるため審議を遠慮せられたいとの態議なき限り條約承認の條件材料不備を理由として愈々最後の決意をなし、審査不能に委員會の態度を決する模樣であるが、この審査不能に對しては委員外顧問官中に疑義を抱く者あり就中岡田顧問官の如きは精査委員會は政府の提出した審査資料に基いて條約が御批准されて可なりや否やを決すれば足るものである、然るに審査は不可能であると云ふのは樞府として其の職責を全うするものでは斷じてない、國民負擔の輕減は目下政府に於て其具體的實施案を立案中であり樞府は實現に對し政府を信頼するのが當然であつて立案中の具體案提示を迫るのは樞府としては程度を超えた越權の沙汰である、殊に條約兵力量に關する軍事參議會の奉答文提示を強要することも亦越權である、政府が帷幄の軍機、軍令の機密に屬するとの理由でその提示を拒絶するのは當然である

この意見を有し若し精査委員會が審査不能なりとの報告書を作成して本會議に臨むこととなれば岡田顧問官は敢然起つて右の趣旨に於て委員長の報告に反對するに至るべく必然審査不能に關する激烈なる論戰が免れ難き形勢である

秋の點景

日曜閑話

秋の音づれ

時代の流れにも反省を閃めかす

李太白の如く夫天地者萬物之逆旅、光陰者百代之過客、而浮世若夢、爲歡幾何、といふてもわれわれ日本人にはピンと來ぬ憾みがある。やはり芭蕉のやうに

月日は百代の過客にして、行かふ年も又旅人也。舟の上に生涯をうかべ、馬の口とらえて老をむかふる物は、日々旅にして旅を栖とす。古人も多く旅に死せるあり。予もいづれの年よりか片雲の風にさそはれて漂泊の思ひやまず。海濱にさすらへ、去年の秋、江上の破屋に蜘蛛の古巣をはらひて云々

と來ると、何となく秋といふものと日本人といふものとを結びつけるやうな感が深い。漢の武帝の秋風起兮白雲飛、艸木黃落兮雁南歸

とあつては餘りに大陸的で、秋のさびしみを感得するといふ譯にはゆかぬ。歐陽永叔の秋聲賦

歐陽子方夜讀書、聞有聲自西南來者、悚然而聽之曰、異哉、初淅瀝以蕭颯、忽奔騰而砰湃、如波濤夜驚、風雨驟至、其觸於物也、鏦々錚々、金鐵皆鳴

といふのでは、忍び寄る秋の心持ちを傳へることは出來ぬ。餘りに白髮三千丈的である。そして日本の秋は、支那大陸の秋の如く、蕭殺の氣を吹き來る一夜の風に、萬物の古から摧敗零落せしむるものとは異る。日本の秋の歩みは、相當のユトリがあり、枝もたわわに露を瞬のうるほひがある。

×　×

われら日本人の心の奧底には、西行や芭蕉などが通つたやうな秋の心とでもいふやうなものが傳統的に、遺傳的に流れてゐるのではあるまいか。春から夏にかけ、あわただしく過ごして來たものも、この秋に入ると、襟を正さざるを得ないやうに、吾も人も秋の心に透徹せざるを得ないのではあるまいか。

花々しい物質文明の世界においても、この秋の心といふやうなものが、往々にして頭を擡げるのを見るのである。近頃、若い文士の人々にして二三、佛門に入るなどといふことは、この秋の心の傳統に還元せんとするものではあるまいか。そこに東洋的な、否、日本的な反省がありといへやう。

カフエだジヤズだと騷々しい生活に、この秋にあつて、われわれの心の奧底に流れてゐる秋の心が、よし、それが自覺的でなくとも、しみじみと頭を擡げ來ぬであらうか。

行雲流水、必ずしも世捨人にならずとも、秋を感しむ、否、賞するところの「さびしみ」を詠する歌人「もの、哀れ」を感ずる歌人となる心境が、われわれの心の奧底に刻みつけられてゐるのではあるまいか。

西行の山家集、われらに少しくも、芭蕉の「奧の細道」に至つては、簡素な、われわれの祖先の辿つた道が、一種の親しさを以て讀まれる。しかも誇張的でなく、ただ、しみじみと純眞な、われらの祖先の生活が感ぜられる。

×　×

世は進み、花々しい世界は、われらの眼前に展開せられるけれども、物の哀れ、心のさびしみを鑑賞する東洋的、否、日本的な藝術心理は、われらの心の底から拂拭し去ることは到底、不可能のことではあるまいか(一記者)

文書戰に言論戰に

漸く選擧氣分動き出す

各候補の色分けと選擧事務所　全く混沌たる形勢

大連市會議員の補缺選擧は六名の補缺に對し芦刈、高塚、岡野、瀧井、熊谷、吉田、矢野、木原、五十崎の九氏立候補し互に轡を並べ

必勝 を期して逐鹿戰場に驅を進める事になつたが、定員を超過する事三名、相當激戰は免れざるべくそれを支持する現市議各派も寄々會合し秘策を廻らしてゐる、卽ち芦刈、高塚、吉田の三候補は中正倶樂部、岡野、熊谷、矢野、木原の四候補は革新倶樂部これを支持し瀧井、五十崎の兩候補は中立を標榜し各々市民有權者に向つて「俺」を問ふてゐる、右の中芦刈氏は磐城町東亞勸業に事務所を設け既に文書、言論の

火蓋 を切つて落し十四日午後七時からも沙河口劇場において第二回の政見發表演說會を開き引續き各小學校俱樂部に於て十九日夜まで言論戰で戰ふ事になつてゐるが高塚氏は吉野町共外組に事務所を設け十五日午後七時常盤小學校に於て政見發表の第一聲を擧げると共に引續き十九日までこれまた言論戰でヒタ押しに押して行く戰法、吉田氏は自宅を選擧事務所として[illegible]まで手順が進まず目下新戰術を考究中とある、岡野氏も自宅を選擧事務所となし

言論 で進む可く、熊谷氏は滿蒙土地會社を選擧事務所とし十七日夜沙河口大日活で言論戰の第一頁を飾る段取り、矢野氏は伏見町革新倶樂部、木原氏は近江町小田福道方、瀧井氏は西廣場土田鋼鐵館にそれぞれ選擧事務所を設き五十崎氏は自宅を選擧事務所として作戰の陣容を整へてゐる、何れにしても三名の落伍者を出す事は免れないが果して何人が當選するか、何人が落選するか、當落の

勝敗 は今の處全く豫想されず文書、言論の戰術は益々濃度を増し日に〳〵激戰となつて行く

滿鐵當面の諸問題を語る

拓務省に報告した後

大平副總裁、記者團と會見

【東京特電十三日發】大平滿鐵副總裁は十三日午前十一時拓務省に松田拓相、小村次官、蒲田殖産局長等を訪問して上京の挨拶をなし最近の滿鐵業務、本年度の減收對策、傍系會社の整理經過等について報告するところあり正午辭去、外務省に幣原外相を訪問して同じく上京の挨拶をなし、午後帝國ホテルに伊澤多喜男氏の來訪を受けた後滿鐵出入の新聞記者と會見したが、滿鐵當面の諸問題につき各種の質問に對し左の如く語つた

世界的不況 並びに銀相場の低落に伴ひ滿鐵もその影響をまぬがれず本年度において相當減收を來すのは事實である、故に滿鐵ではこれが對策として社業全般に亘り經費の合理化、[illegible]

今期決濟の 分配はつてゐる樣だが、本年度の實績は大體において一、今後における石炭の賣れ行きが吾々の豫期してゐる通り行くかどうか[illegible]

減收を豫想 されてゐる[illegible]

首腦者に命 じてこれを[illegible]

支那鐵道が 大分方々に建設され若しくは計畫されてゐるが、それ等が滿鐵を脅威する[illegible]

昭和製鋼所 の問題は[illegible]

誰を適任者 として選ぶか[illegible]

南北の決戰期迫まり時局は更に複雜化

武漢は各方面の狙ふ處となり　山東には不戰聯盟

【北京特電十四日發】西北軍と中央軍の大決戰はじりじりと迫つてゐるが兵力、武器の點では中央軍が優り、實戰の經驗は西北軍の強味があり、このところ五分々々の戰ひである、なほその上李宗仁氏等の湖南の杭州に迫りし四川の將領等全部は反蔣の旗を擧げ武漢は各方面の狙ふところとなり、山東は楊三日以來韓復榘、馬鴻逵、石友三、安徽の陳調元氏等が秘密に不戰聯盟を策すなど、時局は頗る複雜化して來た

南北同時に有力な和平運動

政治的解決をはかる

【北京特電十三日發】奉天に集つた韓復榘、劉春榮、石友三、孫殿英、劉珍年氏等の代表が寄々協議の結果張學良氏を動かして、卽日停戰を行はしめ閻錫山氏は山西へ、馮玉祥氏は陝西へ、蔣介石氏は南京へ夫々引つ込み張學良氏は天津に乘出し以て時局の政治的解決を謀ることにしやうとする運動が頗る有力になつて來た、更に一方南京に於ては譚延闓、胡漢民、王寵惠氏らが東北の態度は不明であるが出兵して南京を助けることは不可能であり又武力解決を更に繼續することは政府として決して有利ではないから濟南の奪回を好機として政治的解決を圖ることが最も妥當であると言ふに決定し蔣介石氏にこの意味を通告すると共に張羣氏から張學良氏を動かすことになつたと傳へられてゐるが、東北の會議が斯かる空氣の漲ふ裡に果して如何なることを決議するか大いに注目されてゐる

歳出項目に整理の手を伸す

不合理なものを摘出して主計局にて調査中

【東京特電十四日發】大藏省主計局に於ける明年度豫算概算の査定は愈々十五日から着手すべく準備を進めて居る、而してこれに先立ち旣定經費の節約に就て總額一億二千萬圓に及ぶ私案を作成し計數の整理中であるが、主計局では更にこの機會に於て財政上可及的整理をなすことになり單なる節約又は冗費整理を斷行する外不合理なる歳出項目に對して整理の手を伸ばす方針で目下各省歳出の各款項に就いて摘出調査を進めてゐる、其目的とするところは前記の合理化の外に財源捻出の目的を有することは勿論だが、好景氣時に於ては到底整理不可能であるのみならず政治的に見ても絕好の機會であると見られてゐるが整理の目標となつてゐる特殊の項目は

一、陸軍委任經理の衣糧費

一、警察費團體支辨金

一、北海道拓殖費

一、震災復舊費、調査費

一、軍備改編費

一、一部の義務費に關する補助費其他可なり廣汎に亙る模樣でこれがため法規の改正も相當行はれること

各研究所と試驗所整理

具體案を協議

【東京十四日發電通】政府は明年度豫算節約のため新に約百萬圓に達する委員會調査會費を整理する事に方針を決定し目下大藏省に於て具體的に調査中であるが、十三日の行政刷新委員會では更に各省の所管する數多の研究所及び試驗所を整理することに決定、具體案

莫全權引揚げ說

【ハルビン特電十三日發】モスクワの露支正式會議は例へ開催されても重要問題は解決しまいと觀測され莫全權は引揚げるものと

國際統計會議

十五日より開會

【東京十四日發電通】第十九回國際統計會議は來る十五日衆議院に於て秩父宮殿下台臨の下に開會式を擧行、引續き貴族院に於て會議を開くこととなつた、出席者は各國の代表者會員等八十名、日本側を合し百五十餘名である

二上翰長打合

荒井委員と

【東京十四日發電通】二上樞府翰長は十三日午後三時荒井顧問官を訪問し十五日の委員會に臨む對策につき種々打ち合せをなす處があつた

渡邊法相と首相の懇談

【東京十四日發電通】渡邊法相は十四日午前九時五十分濱口首相を訪問樞府問題並に貴族院方面の情報を報告懇談した

決戰期は近い

幼丹氏歸連談

大連市[illegible]

天氣豫報　十五日(北西の風)曇後晴

各地溫度

地名	十一時	昨日最高
大連	二一、八	二五、〇
旅順	二四、二	二六、一
營口	一八、九	二六、〇
奉天	一八、四	二六、七
長春	一七、七	二六、五

滿潮　午前一時二十五分　午後一時三十分
干潮　午前七時五十分　午後七時四十分

乘物生活
—（C）—妻表

雄々し『タコマ市號』太平洋横斷の壯途へ

今曉五時九分、淋代を見事離陸 群衆狂喜のうちに

【古間木十四日發電通】霞ケ浦に於ける失敗以來十五日隱忍に隱忍を重ねて再擧の日を待つてゐたタコマ市號は遂に飛んだ、一九三〇年九月十四日午前五時九分、滿を持して放つた矢の樣に日本北部の一寒村淋代の海岸を離れ太平洋五千哩の空目かけて隼の如く飛び去つた、その瞬間は

人類征服の歷史に輝く

記錄となつて永遠に殘されるであらう太平洋の波音を間近に聞きながら日本における最後の一夜を海岸近くの民家で一睡したアロムリー、ゲッティ兩氏は午前二時早くも起床し兩氏とも身輕な背廣服を着して二時四十分安野旅館を出て三時四十分淋代着、直に滑走臺のタコマ市號にかけつけ提灯の灯を頼りに出發の準備に着手した、出發と聞いて數里の夜道を近在から押寄せたモンペイ姿の頰冠りの在郷者、タコマ市號出發準備のため滑走路の地均しに滑走臺の建設

涙ぐましい 奉仕と盡力

を續けた地元三澤村民等數百名が何れも感激と驚異の瞳を輝かしながらこれを見送る、やがて發動機の點檢その他準備を終つた、プ・ゲ兩氏は見送りの田中航空官、海軍省航空本部三輪大尉、太田少佐、三澤村長らと固き握手を交し、更に村の群衆に向つて厚く感謝の言葉を述べたのちヒラリと機上の人となつた、大事を行ふもの、悲き

決意と微笑が二人の顏に浮ぶ、異常な緊張が邊を包んだ「左樣なら……」「左樣なら……」兩氏が機上から別れの手を振つたと思ふと轟然プロペラは廻轉を始め一同が狂喜して叫ぶ中を

五時七分……スタートは

切られ、朱色のタコマ市號は疾風の如く滑走臺を下つた、滑走約二千メートルの後見事に離陸し一路壯途に上つた、時に午前五時九分（寫眞はアロムリー中尉、後方ゲッティ機關士と飛んだタコマ市號）

無事成功を祈る

田中航空官談

太平洋横斷飛行は是非成功させたいと最初から苦心してゐたがヤッと重荷を下した、最初滑走臺を降りる際機體が左に搖れたのでハッとしたがそれはタコマ市號はガソリン滿載する左の車輪が一呎半ほど下る癖があるためであつた、四百二十五馬力の發動機に五噸半もの全重量で見事に離陸したのは

新記錄といつてもよい、滑走中可なり左右に動搖した樣であるが下が軟弱だからやむを得ない次第である、霞ケ浦と比較すれば速力も非常に出てゐた滑走臺を作つて置いた事は有效だつたと思ふ、この上は無事目的を達する機禱つてゐる

二八・五—二二・五 獎學會敗る

對大連一中陸上競技

來る二十一日の奉天敎育トラックにおいて擧行される全滿中等學校教員州內外對抗陸上競技の州內豫選會を兼ねた獎學會對大連一中の對抗陸上競技は十四日午前九時より州內の小學、公學堂の腕自慢の先生が集つて大連運動場に於て擧行されたが、日頃の腕前見せんものと各先生大活躍結局二八・五對二二・五で一中勝つ

▲百米　一着湊川（一中）二着深川（一中）三着趙（土佐町）
▲砲丸投　一等石丸（一中）二等加藤（一中）三等中村（春日）
▲四百米　一着石田（大正）二着幡田（一中）三着韓（西崗子）
▲走巾跳　一等湊川（一中）二等松木（沙河口）三等植本（下藤）
▲二百米　一等趙（土佐町）二着石田（大正）三着三浦（一中）
▲圓盤投　一等石丸（一中）二等中村（春日）三等加藤（一中）
▲千五百米　一着鞠（旅順公）二着韓（西崗子）三着竹内（日本橋）
▲走高跳　一等湊川、田中（一中）三等驚見（下藤）山中（一中）
▲八百米繼走　一着一中A組　二着獎學會チーム　三着一中B組

點	獎學會	一中
百米	1	5
砲丸投	1	5
四百米	3	2
走巾跳	5	3
二百米	4	1
圓盤投	6	4
千五百米	0	0
走高跳	5	5
八百米繼走	0	3
計	225	285

鮮銀浦鹽支店事件 一切を外交々渉に

ロシヤに嚴重抗議

【東京十四日發電通】ロシヤ政府の鮮銀浦鹽支店檢査の結果は遂にハバロフスク財務全權の鮮銀露貨自由賣買停止となつて現るゝに至つたので問題は一切外交々渉に移し勞農ロシヤ政府に嚴重なる抗議を提出する筈、大藏省國場銀行局長は十三日午後五時加藤鮮銀總裁を招致しロシヤに對する抗議の論點につき約一時間にわたり協議するところがあつた

露貨自由賣買は鮮銀支店の特權

【東京十四日發電通】浦鹽鮮銀露貨賣買停止問題につき大藏省當局並に鮮銀側の主張するところによれば、そもそも鮮銀浦鹽支店の露貨自由賣買は一千九百二十八年の財務人民委員會訓令によつて特許を得てゐるもので、この特許文中には露貨賣買を時價によるべからずとの規定はないから露貨自由賣買は鮮銀の特權であるといふにあり、對露抗議も右主張を根本主張として行はれる模樣である

特權は

こゝにおいて國法として禁止されることになつたわけである、從つてこれは目下我經濟界の重大問題として輿論沸騰し政府も嚴重抗議を提出せんとしてゐるが、そもそもその事の起りといふのは次の如くである、財政窮乏に陷つてゐるロシヤ政府は何んとか增收を圖りたいと先づ目をつけたのが漁業權の國營、然しこれは條約による既得權として毎年出漁する日本が大いに邪魔になる、で既得權の剝奪は容易に出來

ロシヤの暴擧 何のためか

財政窮乏が生んだ 苦るしい收入增加策

【東京特電十四日發】露國の鮮銀浦鹽支店檢査は七月十一日以來二ケ月間續けられてゐたが、遂に本月十二日附をもつて露貨自由賣買禁止を發令するに至つた、この露貨賣買に對する壓迫は東支鐵道人のブローカーのみに限られてゐたがつぎに日本人ブローカーに及び最後に鮮銀まで來たわけで、これまで同行の有してゐた

追拂策

ないがその追拂策としてかの有名なる島德藏氏の漁區入札から氣の付いたのが鮮銀のルーブル紙幣の賣買禁止だ、卽ち露貨の對外價値は非常に低く、普通ならば一ルーブル我一圓でなければならぬが今は四分の一の二十五錢見當に落ちてゐる、これがためルーブルで仕拂はれる日本の漁區入札料は實際の四分の一で事足るわけから、これを平價通りにすれば一躍三倍以上の增加となる勘定、そこで日本のため露國內で合法的ルーブル買占に當つてゐる鮮人を

壓迫し

一氣にその供給の途を絕たうといふ寸法で、いろいろな手段を盡すことになり、無謀にも鮮銀の家宅搜查、その以後に於ける檢査の續行、さては賣買禁止といふ暴擧に出でたといふ次第、その結果日本側が大打擊を蒙るはいふまでもなく、茲に抗議提出となつたといふのであろ、しかし影響は日本のみでなく露國も同樣の影響をうけ圓とルーブルとの交換の途が絕ゆれば日本よりの輸入資金調達に一大支障を生ずるは當然の話、元來國によつて異る貨幣制度をもつてゐる以上

爲替の

開きが存在するは當然で、露貨の賣買禁止は經濟法則上から見て出來るものでないとはいへ何しろ露國は他の國と異つて統制的經濟を行つてゐる國柄であるから勢ひの赴くところやり通そうといふのであらう、この暴擧をうけた加藤鮮銀總裁は「こんなやり方に對しては飽くまで强硬な態度に出づべきだ」と力めば

ハルビン飛行場いよいよ擴張

國際航空路の發達に伴つて 檢查委員會をも組織

【ハルビン特電十四日發】國際航空路の發達に伴ひ自然ハルビンが滿洲における着陸場としてヨーロッパ諸國に知られることになり、支那側としても國際航空路設定の必要から飛行場の設備を完備せねばならぬとの意見でこの秋は郊外飛行場の擴張を決行することになつたが、吉林交涉局の羅振邦委員は語る

從來歐洲から東洋に飛來の飛機檢査については護路軍司令部副官處一部の機關檢査で通過を許可していたが、最近フランスのコスト機が飛來して

より、日本の吉原、東兩氏の歐亞連絡の飛行あり、ますますハルビンが國際航空路の東洋における一地點となる傾向にあるので特別區管下として飛行機檢査委員會を組織し試辦章程のもとに一切の國際飛機の檢査を施行することになつた、委員は護路軍側と行政長官公署、警察管理局、吉林交涉局、稅關の

五機關

から任命されるそれで外國飛行機がハルビンに着陸する場合、交涉局に申請すれば途聯當局に申達しその許可のあり次第、交涉局から各機關の委員に通告し準備をすることになつてゐる

眼の中に映るものは 火事・火事・火事

ナス管一つに生命を繫ぐ輕業師 粹で勇な紅焰の勇士

馬車を、俥を、人を、あらゆる街の點影を吹き飛ばし、ひたむきな强驅を連呼するサイレンの豪響の餘韻に殘して街の彼方に燃え熾る火柱に疾風の早さで飛びかゝつて行く巨大な赤塗り自動車、――夜打ち仕度のやうに刺子の防火帽子を被り、油汚みたバンドにブラ下つたニッケル鍍金の鳶口、悍で勇みな「紅焰の勇者」は必死に握りしめた橫杆の中に滲み出る汗を感じ乍ら火焰の中に亂舞する數秒後の彼自身を裂かれゆく空氣の中に描いて身震ひする

▽――△

都市を、人命を、財產を死守する爲めに驀進する消防自動車は、天下公許の「礫捨御免」を許されてゐる、一時間三十哩――市外に出れば五十哩は飛ばせる――の疾驅でも、行手に火花を散らす火柱を眺めては決して速いとは感じない、グッと腰を落してこの手押しサイレンに力を入れ、グルッグルッと二、三回轉すると、人も、馬も、電車さへも跳ね飛んでしまふっていふ氣持ちですね、兎に角、眞紅な火柱がむしやうな目當てで、眼の中に映るものは火事、火事、火事だけなんですよ

▽――△

爆發するやうな火災報知のサイレンが響いてから、消防署員が各自の分擔を負つて狹い自動車の各位置に就くまでに二十秒、市中の火事なら二分あればチャーンと火災現場へ行けるといふから恐ろしい超スピードだ

消防自動車の梯子ですか？全長八十尺、埠頭ビルの火事には丁度ビルヂングのルーフへ消防手の頭が屆く位の高さまで延びました、ホースを持つてゐるので水壓の爲めにトップに身體を縛りつけてゐる筒持ちがゆらり搖れて、將に中空に泳ぐッていふ感じでしたよ

▽――△

自動車の背中から四段の梯子が延び切つて、それへ攀ぢ登る眞黑な消防夫、眼下に群蟻のやうに散つてゆく人々を見下すと臓の眞ン中に白金の針を突き刺された感じだ、ナス管一本に二十貫の身體を支へて、水壓がグシングシと鼓動する筒先を握る、消し口を變へる時、スライデング・ラダーの突端は八十八の中空に前後左右五尺の空間を泳ぎまはるのだ。ナス管一箇に繫がつた生命――火焰神の輕業師は極ごい藝當を演じるのだ【寫眞はスワ火事で出動する勇ましい消防署員の勢揃ひ】

羽根フトン専門
勝山洋行
連鎖街京極
電二二二八番

愛讀者奉仕の福引一等賞品

山崎運送店新聞部の申出で 市役所を通じて寄附

本紙創刊廿五周年並に社屋新築落成記念の愛讀者奉仕の大福引一等賞品は山崎運送店新聞部に當つたが、同新聞部はわが滿洲日報の取次販賣店である關係上、主人山崎靖吉氏は今回の籤引は滿日の讀者奉仕の意味に於てなされたものでこれを公共機關へ寄附したいと申出た、よつて我社はその意を諒とし贊同の結果、大連市役所を經て然るべき所へ寄附することになつた【寫眞は一等賞品のビクトロラと寄附を申出た山崎靖吉と同新聞部】

障子紙
山縣通
吉田洋行
電四〇〇〇

四洮線のベスト

【ハルビン特電十三日發】ペストの發生地は洮南を去る百支里の突泉水源で、同地では去る四日から一日平均七名の割で感染し終熄しないが別に今の處では四洮線の運行を休止する必要はないと

大藏當局も「斷然默認出來ぬ」と頑張つてゐる、北洋漁業者對露貿易者は

頭に火

がついたので承知出來ず「露國がこの儘無理押しするやうなら、當方も通商代表に加勢して極東銀行の營業禁止を行ひ報復手段を執る」と意氣込いてゐるさてこれに對し幣原外相が如何なる措置に出づるか見ものである

省線追突原因

ブレーキが利かなかつた

【東京十四日發電通】省線椿事の原因については目下調査中であるが追突當時の狀況は蒲田行（八輛編成）が有樂町發後帝國ホテル裏に停車してゐるところへ、山ノ手線（四輛編成）が進行し來り、更に蒲田行の後方相當距離に停車待合せ中の櫻木町行（八輛編成）が進行し來りブレーキを掛けたが間に合はず山ノ手行に追突、山ノ手行は更に蒲田行に追突して三重衝突となつたもので二名重傷他は何れも輕傷である

三百名が折詰中毒

岩手縣愛國婦人會の騷ぎ

【盛岡十四日發電通】愛國婦人會岩手支部では十二日東伏見宮大妃殿下の台臨を仰ぎ支部大會を催したが、正午縣公會堂における祝宴に出席した約三百名は折詰の卵燒きと蒲鉾の中毒で十二日夜から十三日朝にかけて腹痛嘔吐を催し中には重態に陷り入院せるものあり當局は大狼狽してゐる

ドエーク優勝

全米庭球單試合

【フォレストヒル十三日發電通】全米庭球シングルス決勝でドエークが優勝した

ドエーク｛一〇—八、六—一、四—六、六—四｝シールヅ

一樹會演能會

廿四日に開催

一樹會にては來る廿四日秋季皇靈祭に午前九時から大連海務協會海員集會所にて秋季演能會を催すが番組は左の如くである

▲能　山姥、楊耕廣、松風、小鍛冶▲囃子　春日龍神、實盛、六浦、小督、唐船、紅葉狩▲狂言　筑紫奧い連歌盜人、井杭

岳諷會　來る十五日夜市內若狹町二滿電俱樂部に於て第七十二回例會開催する由番組は三輪、烏帽子折、井筒、經丸、狸々、番外綜上等にて來聽歡迎すると

俠艶一代男 (56)

米田華紅作　伊藤幾久藏畫

お千賀の行方(十二)

「さんでもねえ」と、道玄は狼狽て〻、お千賀の歸心矢のやうに見える頼みを押へつけ、遮けて「そんな無法なことは出來ねえよ。石上さま許りか?お前さんのお父さんの依田さまから、くれ〴〵も俺が今夜は頼まれた。遅いうへに若い娘の一人歩きは時節柄物騒だし幾ら娘が戻らうとせがんでも、是非一晩は泊めて、明朝早く歸つてくれされ。そりやお前さんも家へ戻りたからうが、百里二百里と離れた所ぢやなし、つい眼と鼻の所だそれに夜が明けるのも間もねえことだし、お前さんにしたつて十や十一の小娘ぢやねえ、廿歳にもなれば一人前、これ位の辛抱の出來ねえこともございますめえ」

「ですが、何となく氣懸りでなりませぬ」

お千賀は、道玄の様子と云ひ、後に突立つてゐる老婆と云ひ、不安の疑念を深くした。

「まアいゝやれ心配しなさんな」

「でも私は戻して頂きたうござんす」

お千賀の眼底に涙が一杯溜つてゐた。

「判らねえ娘だな。今もいふ通りお前さんの親爺から頼まれたと云つてるぢやねえか?」

道玄は面倒臭さうに言葉を荒立てた。

お千賀は、この様子に取りつく島も無いやうにおろ〳〵して、いぢらしく

「はい、済みませんでした」

「ヘツヘヽヽヽ、何も謝罪まることはねえ。判るには判られえよ。あんまりお前さんが遮二無二歸らうと云ふんでね。つい、その何だ、日頃の氣性で、荒い言葉を吐してしまつたのだ。何も氣にかけることはねえ、本當に心配しなさんな」

「はい!」と、俯いたお千賀の瞳から、溜りかねた熱い涙がほろ〳〵と溢れた。

「小父さん。どうぞお頼み申します」

「あゝいゝとも!」と、道玄は二ヤリと薄笑ひ、大きく頷いてみせた。

「道玄さん」と、この時まで默つてゐた老婆が「こんな殊勝らしい處女娘を……お前さんも随分罪作りだねえ」

「何だと!」

道玄はカツと逆上氣味に睨み据ゑて「詰られえことを云ふと承知しねえぞ」

「私ア盲目長屋にゐる娘なら、もつと阿婆擦れ者かと思つてゐたのさ」

「餘計なことを云ふな!それより手前、用が済んだら室へ引き取つたらどうだ?」

「さうかい?この娘さんをあの室へ連れてかないでいゝんだね?」

老婆は嫌味交りに念を押した。

「うむ、さうよなア、まさか幾ら何でも俺が石上さまの代りにもなれめえし……」

「いゝ加減におし!夜も遅いんだから。室へ連れてくのかい?、それともどうするんだい?、今夜は御前へ引きつけて置く積りなのかね?」

「連れて行つてくれ!」

道玄が思ひ切つた風にキツパリ言ひ放つた。

「ではお嬢さん。あのお千賀さんやら、私と一緒にお出で!」

老婆が薄氣味惡い猫撫で聲を立てた。

「お千賀さん、向ふの座敷で、今夜はゆつくりと寝みなせえ。話は明朝のことゝしてな」

「いえ、こゝで結構でござんす」

「結構だつて、俺も寝なけりやならねえ。男女七歳にして何とやらでね。ヘツヘヽヽヽ、幾ら許さんの俺だつて、綺麗なお千賀さんと一つ室に眠るのは氣懸りだ。ないゝか」

「いえ私は起きて居ります」

「そんな判らねえ事を云はず、向ふへ行きな」

さ、また恐らしい眼を向けたので

「あい」とお千賀は仕方なく、道玄へ「では小父さま、お休みなされまし」

「あいよ」と、嬉しさうに頷く道玄を後に、老婆と共に、その小座敷を出た。そして暗い廊下を元へ戻つてから、暫く經つて、立ち留まつた氣配の老婆が重さうな戸をづろ〳〵と、石臼をひくやうに開けて

「こゝに這入つてお出で!今すぐに灯を持つてきてあげるからな」

街の勇士　下加茂の高田浩吉昇進第一回主演作品として注目されてゐる、監督は小石榮一で助演者は若水絹子堀正夫鳳歌子【寫眞は高田浩吉と鳳歌子帝國館上映】

キネマと演藝　噂話

白藤愛光が大日活を辭めたといふので某然映畫街にセンセーションを卷き起してゐる▲何が彼をそうさせたか?麻雀だと言ひ浪曲だと言ひ、どちらにしろ香しくない▲馘つた馘られたなんて愈々一九三〇年の映畫界でなくなる▲この前には他の館で解説中に舞臺から引ずりおろしたと傳へられた矢先だ▲お互にもつと自重して欲しいものだ、如才のない林サンがついてゐてどうした事か▲近く來演する中村正二郎の歌劇レヴユウ團に桃山妙子なぞが加入してゐる、昔懸しい人は誰だ

ラヂオ

大連 JQAK　九月十五日午後七時

▲ラヂオ體操
▲露語講座(第四十七課)大連語學校グローズマン
▲支那音樂と歌曲(一)音樂湘江怨(二)歌曲(イ)長記得(ロ)漂泊者(ハ)小妹々的心(ニ)落花流水明月歌舞團
▲筑前琵琶(龍の口)法命山水島旭山
▲長唄巽八景唄仙波夫人、三味線中村愛子
▲職業紹介事項
▲料理獻立
▲天氣豫報

MARGARINE
ORIENTAL TRADING CO. DAIREN
マーガリン・バター
植物性硬化油で混合物なく純粹の牛乳バター同様テーブル用として好適、製菓用として料理用としてカフエー料理店、菓子舗の御推賞の品で在來の惡臭ある不純の品やフライ鍋で溶けない品とは異り少しの臭もなく其風味亦格別でテンプラ揚油として是非各御家庭の御使用を願ひます此の品は夥行永年の經驗から和蘭に於て特別に精選せしめた品です御求めの節は必ず『オリエンタルのマーガリン』と御指定下さい、開罐後不良の品ある場合御取替へ致します

一九三一年式
すばらしい勢で流行はバランスへ!
バランス型
パイロット高級萬年筆
バランス型 三圓以上
標準六種 四圓以上
並木製作所
南京號

二十日券が十円で買へる
第三回 割引勸業債券賣出
賣切れぬうちに
絶好な貯蓄
一等割增金 三千円
九月十五日より
▲買ふ時は十圓で還へる時はいつも二十圓。
▲税金は一切かゝらない。
▲割引利廻は初回當籤四十割平均四分三厘四毛。
初回抽籤―本年十二月
三千圓 二五本
百圓 五〇〇本
拾圓 一、九七五本
毎年二回宛抽籤。
割增金毎回多數。
十八年間に全額償還。
日本勸業銀行

内科 小兒科
入院患者
相原醫院

社説

市議補缺戰
大言壯語よりも具體意見を示せ

人氣薄といはれた市會議員補缺戰、六人の補缺に對し、最後の締切までに九人の立候補を見たといふことは、大連市政のために心強さを感ぜしめる。選擧といふ以上そこに競爭がなければ何となくモノ足らず、また市政といふものを一般市民に感銘せしめる上からも是非とも花々しい選擧戰が演ぜられんことを望まざるを得ない。

大連ばかりでない、日本の市制も然りであるが、殊にわが大連の市制を以てしては、市政を充分に行ふことは、まづ不可能といはねばなるまい。この點、市の理事者は勿論、市會議員の人々に對しても、氣の毒に感ぜられざるを得ぬのである。

自治といつたところで、その市政の範圍が、かくも制限的であつては、何ら實現の期せられぬのは當然といはねばならぬ。第一、何事を行はんとしても、財政的に行詰らざるを得ぬのである。こゝのところは根本的に、關東廳當局の考慮を請はねばならぬところであらうと思ふ。

大連の市制下にありて、今日、當面の問題とされてゐるところの市場の案件が、依然として解決せられぬ所以のものは、市長の更迭その他いろ〳〵の事由によるであらうが、歸するところは制度上に相當の缺陷が存在するためではあるまいか。自治制の名のみあつてその實なく、市理事者としても、充分に腕を揮ふことが出來ぬやうな組織になつてゐるのである。

この點、市理事者に對し氣の毒な感あると同時に、折角、選ばれて市會議員となり、相當の抱負をもつて市政のために貢献せんとするものも、充分、腕を揮へ得ぬといふ憾みがないでもない。この結果に加ふるに、昨今の不景氣などを以てし、補缺戰が人氣薄を傳へ動ともすれば補缺人員に滿たぬではないかとさへ心細がられた所以ではあるまいか。

併し、何も悲觀するには當らぬのである。市理事者は勿論、市會議員諸君は、市民を背景として、大連市の發展向上のため、すでに與へられたる範圍内における市政の擴充を期すると共に、その權限の擴張し、不合理なる自治制の合理化に努力すべきである。この意味において、すでに選ばれたる人々、および新に選ばんとする人々には、すくなくとも二重の重大責任があるといはねばならぬ。

この重大責任に向つて新に候補たらんとする九人の人々に對し、われわれ市民は、近く行はれんとする補缺選擧に當り、一言の注文を發せんとするものである。

政治は現實であらればならぬ。必ずしも高遠の理想を振りかざすを要せぬ。勿論、現實の政治を發露さすところの基調には、常に哲學的な高遠の理想を必要とするけれども、それが徒らに抽象的な觀念となつて現實に即せぬやうなものであつてはならぬ。そこには徹頭徹尾、現實味といふものがなくてはならぬのである。

殊に市政は、市民の臺所をまかなふところのものであるから、空理空論は禁物である。市民の日常生活に觸れた、いはば市井の卑近な問題を、片つ端から解決して行くやうに心懸けねばならぬのではあるまいか。そこにまた、市制に規定せられた以上、以外に、市理事者は勿論、市會議員諸君の活動すべき廣大なる場面が殘されてゐるともいふことが出來る。

六人の定數に對し九人の候補者とあれば、相當、この一週間は激戰を演ずることであらう。この政戰に對し吾人は、ただ普通選擧の公明正大なる言論戰を期待するものであるが、上述の趣旨により吾人は、抽象的なる大體論よりも、具體的なる事實論、一般市民の爲めになることで、九人の候補者が、市民の前に意見を披瀝せんことを要求する。大言壯語は痛快であらうが、われわれはそれよりも、具體的な意見によつて、むしろ計數的にでも、全市民の市政生活を向上發展せしむる案件の提示を希望するものである。

腹をきめて動かずば局面は自らひらけん
けふの第十一回委員會を控へ
政府側、前途を樂觀

【東京十四日發電通】樞府と政府の對立は目下のところ妥協の曙光を見ず十五日も兩者睨み合のまゝ第十一回委員會に臨む事となつたそれにしても雙方の肚は縣値なしに強硬なのか或は何等か妥協の見込みがあるのかこの委員會の結果は頗る注目されてゐる、何れにしても政府としては

最惡の場合に備へて

萬全を期するに如くはないので肚の底だけは据えて掛つてゐるが、樞府側の強がりに對しては何等かの策略より出たものとして高を括つてゐる模樣も見受られる、卽ち政府側の見るところは

樞府は補充計畫と減税との數字的説明なしには條約の審議は不可能といふが、これは條約の審議とは無關係で條約の可否を斷ずるには條約の兵力量に缺陷ありとせばその補充の途があるかまた減税の可能性があるかさへ判明すれば足りるわけで、政府もその範圍においては

誠意を披瀝し盡してゐる

のだからそれ以上計畫そのものゝ内容に深く容喙し、又政府の言質を得んとするが如きは施政干渉と見るの外ない、從つてその要求を容れないからといつて審議不能の理由とはなり得ない、樞府事務規定の三條によれば樞府は政府の提供する材料の範圍内に於て諮詢案の可否を明確に奉答すべき責務がある樞府が審議不能を奉答するが如きはその職責を全うし得ざるものでその原因如何に拘らずその責任を負ふて

總辭職

なさねばならぬ樞府もこれを知らぬ筈はない結局審議不能論は宣傳だけで出來得ざるであらう、故に政府が固く肚を極めて動かねば局面は自ら樞府側から開かれて來るであらうと云ふにある

濱口首相ら重要協議
對委員會の態度について

【東京十四日發電通】濱口首相は十四日午前十時川崎法制局長官、鈴木書記官長等を官邸に招致し樞府方面の情勢を聽し、更に午後二時半江木鐵相の訪問を受け十五日の委員會に臨む態度につき約一時間に亘り重要協議をなした

福田顧問 會談
二時間に亘り委員長を訪問

【東京十四日發電通】福田顧問官は十四日午後二時半伊東委員長を訪問、四時半まで二時間にわたりロンドン條約審議に關し重要會見を行つた

二上書記官長 伊東委員長と打合せ

【東京十四日發電通】二上書記官長は十四日正午伊東委員長を訪問し約一時間にわたり明日開會の委員會につき打合せをなすところがあつた

聯盟理事國改選に支那立つ

【ゼネヴ十三日發電通】國際聯盟非常任理事國九ケ國中キューバー、フィンランド、カナダ三國は九月二日滿了のため其の選擧は來る十七日行はれる筈であるが、十三日支那代表伍朝樞氏は聯盟總會に文書を以て右選擧に候補國として立つ事を申込んだ

ブリアン氏 伊代表と會見
注目をひく

【ゼネヴ十四日發電通】昨十三日國際聯盟佛代表ブリアン氏はイタリーのシアローヤ氏と會見したが内容は佛伊海軍交渉に重要なる結果を齎すものとして各方面の注目を惹いてゐる、若し兩氏の交渉が有望に展開すれば恐らく最近歸國せるイタリー外相グランヂ氏も當地に引返しブリアン氏と會談する段取となるものと見られてゐる、なほ兩氏は十四日日曜にも拘らず引續き再び會見をなす筈である

獨白佛社會黨と國民黨左派連絡
ワ前白國首相の意思表示で陳公博氏と諒解成る

【北京特電十四日發】ベルギー前首相ワンデウエル氏は過般北京に於て國民黨左派の人々と頻りに往來してゐたが、聞く處に據ると陳公博氏に對して獨白佛三國の社會黨は國民黨の左派と連絡を取ることを希望してゐる意思を表示したが、滯在期間が短かつたので其具體案を提出せずして南下したが、陳氏は之に對して大に贊成し三四ケ月內に自らベルギーに赴き一切を協議することを約束した、斯て氏は年末か或は明年一月國民黨の代表としてベルギーに赴き同地に於て白獨佛三國の社會黨及英國の獨立勞工黨代表と一切を協議する事になつたが「黨内の整理は最も必要であるが外國に對して連絡することも更に必要であるから近く此案を擴大會議に提出する考へだ」と語つてゐる

失業救濟の政友會案の大綱
十五日の總會に提出

【東京十四日發電通】政友會の失業對策委員會は十三日最後の委員會を開き具體策を決定し山本政務調査會長に提出した依つて山本會長は十四日中に不景氣對策減税關係とも照し合せ十五日の總會に附議し最後案を決定する事となつたが其の内容の大綱左の如し

一、權威ある失業調査を行ひ失業の實體を明かにす
二、健全なる産業政策の實施に依り失業防止を期す
三、速やかに失業基金制度失業保險制度解雇手當制度その他の研究調査に着手し根本對策の確立を期す
四、公共事業の興起、海外發展、一大臨時機關の設置により失業者の應急就職の途を講ずべし
五、公共事業の興起は國家が主としてこれに當る
六、移植民の奬勵海外投資の保護
七、智識階級の失業に對しては財政改革により防止緩和の策を樹つると共に臨時に全國的調査機關を設置して應急就職の途を開く
八、職業紹介所に對する國庫補助率を增加しその普及統制の完備を期す
九、失業者訓練所の設置
十、救護法の實施
十一、以上に要する經費は公債發行による

北方政府の約法起草委員會
けふ懷仁堂で開く

【北京特電十四日發】北方政府の根幹たる約法起草委員會は明日午前八時より懷仁堂において開會、委員は汪精衛、鄒魯、張知本、覃貢泉、茅祖權、陳公博、顧孟餘の七名及び羅文幹、郭泰祺等六名である、尚その内容概略は

一、人民公私權利の保證
二、中央政府の權限
三、各省政府の權限
四、各縣地方自治の權限等

中央卸市場問題と輿論

市は大連のみの消費市場を經營
全滿を統一した會社單一制
市會議員 今村貫一氏談

中央卸賣市場の改善問題も焦眉の急であるが、眞實の商賣の原則から言ふと自由市場が最も理想的ではないかと思ふ。併し理想と實行とは伴ひ難いから自然改善問題も起つて來るのであるが合理的に解釋すれば市營單一制、會社單一制、代行會社單一制等と……澤山あるけれど只單に方式にのみ捉はれて考へる事は少しく單純ではなからうか。土地の状況により臨機應變にやるが至當ではないかと思ふ。大連の卸賣市場は内地の卸賣市場と性質を異にし卸の一部が土地で消費されるのみその大部分は奧地行きとなり中繼に過ぎないのである。而已ならず營業者も日支人に區別され而かも支那人の勢力が熾んだと來てゐるので玆にも種々複雜した事情が潜在してゐる事は否めない。右の如く大連の卸賣市場が大部分中繼市場で占めてゐる關係上市が卸賣市場に嘴を入れる事は果して合理的であるか否かゞ先づ疑問であるとしても、三分が消費七分が中繼となつてゐる現在の大連卸賣市場の七分にまで市が干渉する事は如何と思はれる。然れば市で消費される三分のみを市營單一として卸にかけるとしても玆に劃然たる區別を付ける事は却々困難である。例へば内地から一、二、三等の蜜柑が送つて來たとする。その中一等品のみを糶にかけて市中消費者へ供給しやうとしてもその一部が賣れ殘存品を奧地へ送る場合、奧地へ行く分は手數料が課せられ賣價が高くなるのみか市中に消費せらるゝ數量とその區別が非常に困難となる。だから卸賣市場として統一するには奧地へ行く七分の物迄も卸にかける必要がありはしないだらうか。消費者のみの利益を考へると市營單一制もよいが、理想であり、合理化されたものとはいはれない臺灣における臺北、臺中の卸賣市場は八割が土地消費であり、市營單一制を施行してゐるのがやり憎い。私は玆に結論として大連でソノ式にやらうとしても關東廳と滿鐵が協力して宛然東拓會社の如き組織を以て奧地たる奉天、哈爾濱、長春の各方面をも統轄し全滿洲の各市場を統一した處の會社單一制となし大連に會社の本店を置き奉天、長春、哈爾濱に支店を置き會社より消費市場に對してはその經營を市に任せ例へば大連なれば大連市は大連市のみの消費市場を經營する事にし、社長は關東長官之れを任命し且つ監督を嚴重にしたら利權問題なども起らず極めて合理的に行きはしまいかと思ふ

市場と位置と設備が先決問題
制度の問題はその後のこと
田中民政署地方課長談

現在の中央卸賣市場を整備して價格の決定を公正ならしめ且つ配給經費の節減を講ずる事は最も必要であつてこれがため委員を舉げて廣く關係各方面の意見を徵さるゝ事は非常に結構である。改善を要すべき重要事項も多々ある樣であるが何といつても先決問題は市場の位置と設備であらう。現在の市場は衞生的にも遺憾の點がある樣であり運輸貯藏等の設備もまだ不完全であつてこれでは市場としての機能を充分に發揮する事は望まれない。海陸の連絡後運輸の設備が具はり配給に至便なる位置を占め得るならば運送業の經費が節減されまた完全なる倉庫が市内に設備されて低廉な料金で貯藏保管されるならば有利なる相場を俟つて販賣し得られるから市價の著しき變動を避けることが出來る。從つて生産者、販賣業者、消費者等みなその惠澤に浴し得るものである。單一制、複數制等の制度の問題、或ひは運用の問題等はその後の事ではなからうか

四川の獨立と吳・佩・孚・氏
四十萬の兵を統率すればまた芝居が一つ增る

十二日の漢口電報によれば四川省の各軍閥は一致して十日獨立を宣言することに反蔣通電を發したと傳へられる、四川省は南京政府成立後形式上ではその節度に服らしてゐたのであるが、實際は東北各省と同樣特別區域であつて、各地に軍閥が蟠據してゐて南京政府の實勢力は少しも及ばず寧ろ獨立省と稱すべきであつた、故に南京政府としては北方問題を解決したならば當然東北問題と前後して四川問題解決に着手するものと觀られてゐたのである、このことは四川軍閥連も十分に察知してゐるので北軍の旗色が惡くなつたのを對岸の火災視することが出來なくなり明日は我身の上を慮た結果が遂に獨立宣言となつたわけである、斯く觀ると四川軍閥は勿論積極的に北方と呼應して南京政府討伐軍を出動せしむるものと推測されるが、其時は或は吳佩孚氏を盟主に擁ぎ上げるかも知れない、四川は支那の最も廣い省の一つで軍隊の多いことは他に及ぶ省なく而も慓悍であるから吳氏がこれを統率することになれば南京政府にとりては大なる脅威と云はねばならぬ、そころで四川省における現在の各軍閥と其兵數は如何、總帥たるべき人物として吳佩孚氏が居るが氏は今日では地盤も兵も有してゐないから愈々出盧した曉でなければ軍閥とは云へない

◇

軍閥の隨一とも云ふべきは第二十一軍長劉湘氏である、劉は四川軍官速成學校出身で其麾下に三師約九萬の兵を有してゐる、武器も比較的精巧なものを揃へ小銃の如きは全軍に行き渡つてゐると云はれる、第一師長唐式遵、副師長潘文華、第二師長王纘緒、副師長藍文彬、第三師長王陵基で王陵基以外の師長は全部日本留學生出身、副師長は藍が卒伍出身の外他は劉と同學の者である、警備司令は何鼇武と云ひ前清武學の出身、遊擊司令は魏楷と稱し綠林の出身、川鄂邊防司令は范紹增で之も綠林の出身、教導師長は張再で劉と同學、この外に獨立旅、砲兵隊機關銃隊もあり航空隊もあつて飛行機七臺を有し英、獨、佛の教官が居る

◇

第二番の軍閥は第十四軍長劉文輝でこれは保定軍官學校出身、麾下に三師と川康陸軍第一師、兩混成旅等合せて七萬の兵を擁してゐる、第一師長は劉の兼務、副師長は劉と同學の張清平、第二師長は冷寅東で出身は劉と同樣卽ち第十四軍は保定軍官學校出身者が全盛である

◇

次は第二十八軍長鄧錫侯氏で此人も保定軍官學校出身其直轄部隊は五ケ旅一萬五六千の兵に過ぎないが部下には右の外

一、四川邊防軍總司令李家鈺二師を有す、第一師は李自身兼務し他の一師長は張邀良兵力二萬
一、川陸第十一師師長羅澤洲、四旅一萬餘の兵を有す
一、國民革命軍第二十八軍第三師長陳書農、兵數一萬餘
一、全川江防司令長官黃隱、麾下に一師兩混成旅を有す、保定軍官學校出身、師長鄧國璋は綠林出身、兵數約一萬
一、憲兵司令長官彭轂、保定軍官學校出身、兵力三千

右全部合せて鄧錫侯の總兵力は七萬餘と稱せらる

◇

次は第二十九軍長田頌堯氏である副軍長は孫震、何れも保定軍官學校出身、その直轄せるは二箇の特科大隊約三千人であるが此外に第一路から第五路までの司令及教導師、川西北屯墾司令が居る、第一路司令は董宋珩、第二路司令は羅澤洲、第三路司令王銘章、第四路司令は……、第五路司令龔正貫、第五路司令は……その他は全部保定軍官學校出身、教導師長の兼務、川西北屯墾司令は……

［以下判読困難］

最後に第二十三軍長賴心輝が居る、麾下に五師を有す、第三師長……第五師長……第七師長周……第八師長……これ等は皆綠林出身で兵力も判然しない、大體右の通り四川全省の正式軍隊約三十萬といはれるがこの他に雜色軍十萬人合せて四十餘萬といふ兵力であるから若し吳佩孚氏がこれを統率する事が出來たならば天下取の芝居を打つのに不足はないと見られてゐる

國家補償法
司法省議で決定
昭和六年四月より實施

【東京十四日發電通】司法省では十三日の省議に於て國家補償法の原案を決定し十五日中に法相の決裁を得た上十六日の閣議に附議し法制局に廻附するに決した、本法案は全文十六ケ條より成り司法省の意嚮では昭和六年四月一日より實施し度い意嚮である

奉派の方針最も妥當な途へ
邢士廉氏の觀測談

【奉天特電十四日發】邢士廉氏は往訪の記者に對して東北の態度に就き大要次の如く語つた

地理的關係から北方へ好意を有つてゐるのは事實だ、併し具體的に如何なる態度を取るかに就いては意見紛岐し張作相氏は保境安民に終始すべしと說き孫傳芳氏は河南の戰爭を俟つて態度を決すべしと言ひ張煥相氏は卽日出兵して北方を援助せよと主張してゐる、張長官が果して如何なる方針を取るかは言はれないが、東北各當局の團結は堅く何れに對しても完全に同一心理であるから會議の結果最も妥當な方針を定めることにならう

湯玉麟氏 着奉
奉派巨頭揃ふ

【奉天特電十四日發】熱河省主席湯玉麟氏は十三日夜北寧線にて來奉したがこれで奉派の巨頭連は全部揃つた譯である

山西軍の募兵

【天津特電十四日發】山西軍は後方軍隊の充實を理由に保安隊六ケ大隊（約六旅）を募集することになり目下軍需品を購入する一方新兵を頻りに募集してゐる

滿洲藥學會總會
きのふ旅順で開催さる

滿洲藥學會では十四日午前九時三十分より旅順偕行社にて第廿二回總會を兼ね學術講演會開催、出席者七十五名、來賓には宮崎關東軍々醫部長、黑井關東廳技師、藤懸旅順衞戍病院長、米内山旅順民政署長、永山市長、その他、座長に照山藥劑正を推し同氏開會の辭を述べ太田長官、宮崎軍醫部長、山下州外藥學會長、柳澤州内藥學會長の祝辭あり、次で賞品の授與を行ひ長官賞は吉富英助、滿鐵總裁賞は對馬定勝に兩氏に授與の後一同記念撮影を行ひ、豫定を變更し渡邊旅順醫院長は「結核病に對する化學療法の現況」に就て特別講演あり、石井義秀氏の會務報告、林房吉氏の會計報告に次ぎ議事に入つたが、會報增刊の件は幹事に一任し退會者に對する名譽會員推薦また副會長は重任となり他の役人は副會長の指名による事となり會長にはこの指名されたる役人より選擧する事に決定、正午一先づ休憩、午後一時より更に會員の講演會を開き午後三時過ぎ閉會を告げそれより各自自由行動の後午後六時から壽において盛大なる懇親宴を張つた

南京政府の陸大派遣生增加

【南京特電十四日發】從來南京政府は日本の陸軍大學へ四名宛派遣入學せしめてゐたが、陸軍を充實せしむるため人材の必要を感じた結果日本參謀本部に交渉して本年よりは六名に增加するに決し該六名は十四日南京出發渡日する筈

歐亞連絡手荷物課税方法

【ハルビン特電十四日發】歐亞直通連絡蘇聯鐵道の旅客手荷物に關する課税方法は

一、自家用以外の品物で税率表より二割五分高く徵收する
二、ベルリンから東行する東鐵行旅客はネゴレロエ驛で手荷物輸入税を課した場合、該荷物を再輸出する際は蘇聯税關で再輸出税を課さない
三、支那税關滿洲里東行の場合課税を受けることは屢々あり理由は根據がない
四、浦鹽經由の場合は通過封印をするのみで課税せず

大連においてソウエート内にてはトランヂットのものは課税しない若しロシヤ領內で品物を買つた場合輸出税を徵收し通過の際は餘分の品に封印をするに止まる、最近は檢査も簡單になつたが、品物によつてはロシヤ領事の通過證あれば便利である

大連市三河町二番地　日下齒科醫院　番話三三六七番

はるびん丸船客

【門司特電十四日發】はるびん丸の主なる乘客は左の如し

陸軍自動車學校長少將飯田常次郎、同敎官砲兵中佐高野安治、同輜重兵少佐前野四郎、鈴木常之輔、渡邊立策、平山率

新奇を追求してやまぬ米國人の氣質はどこまで伸びて行くのやら遂に空中ゴルフといふのをやり出した米國人はもの好きにも今度は空中ビリヤードを始め出した▲米國撞球界で名を知られたセント・ルイスのヒーターソンといふ選手、この八月セントルイス上空を飛ぶ飛行機上で空中玉突きの試驗をやつてみたが極めて好成績、追つてはボッペだのシエーフアーだの世界の撞球界の一流選手をひつぱり出して空中ビリヤードの妙技をやらせて見たいものだと氣焰をあげてゐる▲ヒーターソン選手の空中ビリヤードは四千呎の上空一時間百哩の速力をもつて飛んでゐる機上でやつたもので機の速力や高度に色々加減をしてみたところ上記の速力と高度が玉突臺の安定を保つに一番適してゐる事を發見したものでヒーターソン選手は二十八秒半に百點をあげてゐる▲これを同選手の地上のレコードたる二十六秒に百點と比べれば僅かの相違である上乘の成績な譯だ、ヒーターソン選手は更に七千呎の高度に達し百三十二哩の速力を出してやつてみたが玉の動搖が激しくて駄目だつたさうだ▲右の中ビリヤードは飛行機の乘客用コンベートメントでやつたもので長さ二十一呎高さ六呎ばかりの部屋に長さ六呎幅三呎の玉突臺をつけたものである

日獨英競技に人見選手の活躍
渡邊、中西、濱崎ら何れも落選
四百米繼走 日本は二着

【ベルリン十三日發電通】日英獨三國對抗女子陸上競技會は本日當地に擧行された成績左の如し

百米
一着　人見絹枝（十二秒四）
二着　ウイツトマン（獨）
三着　スコツト（英）
渡邊孃は六着となり落選

八十米障碍
一着　コーネル（英）十三秒一
二着　テイフイン（英）
三着　ハルグス（獨）
中西孃は十三秒三の好記錄を殘したが惜くも落選

圓盤投
一等　メーデル（獨）卅七米六五
二等　ヘノツヒ（獨）
三等　人見絹枝（卅二米三〇）

走高跳
一等　ブラウミユラー（獨）一米五〇
二等　ミルン（英）
三等　シーブリー（英）
濱崎孃は一米三九で四位となつた

走巾跳
一等　人見絹枝（六米五六）
二等　コーネル（英）
三等　ウイツトコウスキー（獨）

二百米
一着　ウオーカー（英）（二十五秒五）
二着　ラタム（英）
三着　ウイツトマン（獨）
人見孃は落選

槍投
一等　ヴラウミユラー（獨）（三十九米六四）
二等　ラウテマン（獨）
三等　人見絹枝（二十三米七〇）

四百米リレー
一着　イギリスチーム（四十九秒三）
二着　日本チーム（五十三秒二）

創刊廿五周年 廣告展
社屋落成記念

期日　十月一日より五日間
會場　本社新館二階及三階

第一部　廣告研究資料部　（甲）既成廣告媒體物（乙）中國（支那）に於ける既成廣告媒體物（丙）廣告研究文獻資料（丁）新聞及印刷に關する知識普及
第二部　創作廣告媒體物部　（甲）創作商業美術（乙）廣告寫眞（懸賞募集）
第三部　實物宣傳部
第四部　廣告行進、餘興、卽賣店
第五部　廣告展記念出版物及記念品配布

主催　滿洲日報社

廣告寫眞懸賞募集

出品締切　昭和五年九月廿五日
發表　同十月一日より開會の本社記念廣告展にて
賞金　一等金五十圓、二等金四十圓、三等金三十圓（以上各一名）四等金五圓（十名）
出品規定　滿洲日報社事業部宛御申込次第規定書進呈

滿洲日報社

太平洋征空の壯途へ上つたタコマ市號の消息
或は危機に遭遇か
落石無電局で接受の斷片的無電
アリユーシヤン群島を濃霧掩ふ

【アンカレーヂ(アラスカ南岸)十三日午後十一時(日本時間十四日午後五時)發電通】當地に達せる情報を綜合するにアリユーシヤン群島一帶は海上一面に濃霧立ちこめてゐる由で、當地方の飛行家連は若しタコマ市號が右地帶を突破し得ればそれは奇蹟に近い事だと憂慮してゐる

【落石十四日發電通】落石無電局に對するタコマ市號よりの無電は知里保以島通過の報を接受せるのち杜絶し何等消息なく午後五時に至り接受せる飛行機(タコマ市號か)よりの無電は斷片的に「船」とか「港」とかの語を傳へ文意を辨じ難いが、右斷片的電文より推測すれば或は危機を孕める如き狀態に遭遇したのではないかと懸念されてゐる

千島列島の中部通過

【落石十四日發電通】落石無電局がタコマ市號より接受せる無電によればタコマ市號は十四日午後三時半千島列島中部得撫島の北東に接する知里保以島上空を通過した

根室西方通過

【東京十日發電通】落石無電局發=タコマ市號は今朝八時根室西方六十浬の羅臼附近の上空を通過した

タコマ市號のラヂオ感受
けふ横濱入港のタフト號

【サンフランシスコ十三日午後九時(日本時間十四日午後二時)發電通】十五日早朝横濱入港の豫定を以て太平洋上を航行中のプレシデント・タフト號よりの報によれば、同船は北海道東方沖合に於て日本時間十四日午後零時二十分ごろタコマ市號よりのラヂオ發信符號を感受した、飛翔位置を聞き取る事を得なかつたが電波より推測するに同船より約七百浬を距てゝ飛んでゐるものと解せられる

『淋代』のために緊張の村民
タコマ市號出發で一寒村も「賑代」に早變り

【三本木十四日發電通】タコマ市號が去る七日空輸飛來して以來地元の三澤村民の力の入れ方は素晴らしいもので献身的に世話をしてゐたが、横斷飛行が成功すれば名もない一寒村が一躍世界的に名を知られる許りでなく、今後日本一の飛行場として折紙がつけられ樣としてゐるのでタコマ市號出發の直前の緊張は物凄いものであつた殊に三澤村村長小比類巻要人氏や太田少佐等は爆音が轟々と起り始めるとモウ石の樣に緊張して口も利けない有樣、見物に出掛けて來た近郷の人達はもんぺい姿で荷馬車に乗つて押し寄せたところは當に黑船來るの往時の樣も斯くやと許りで、東京より馳せ參じた各新聞通信記者の目覺しい活動に驚異の目を瞠つてゐた、各社の通信對抗戰は物凄い許りで、遞信省では回線の増加臨時電報取扱ひ開始等實に淋代は一躍「賑代」となつた

タコマ全市沸き返る
出發の報に

【タコマ十三日發電通】プロムリー中尉、グッテイ兩氏のタコマ市號が日本を發したとの至急報がタコマ市に…

4—4
接戰十一合勝負決せず
けふ十二回目より試合續行
きのふの實滿野球戰

大連新聞社主催の全滿選拔野球大會第三日目大連實業團對滿洲俱樂部野球戰は實業球場にて十四日午後三時廿五分より小島(球)水原沖(壘)三氏審判、滿俱の先攻で開始されたが、猛烈なシーソーゲームを演出し結局十一回まで戰つた結果四對四で同點のまゝ日沒(同六時十五分)のため試合續行不可能となり、大會の規定により十五日午後四時より同球場にて第十二回目より十四日の試合を續行することゝなつた

經過

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	計
實業	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	4
滿俱	0	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	4

△第一回 滿俱吉野中(高須)一飛芥田右飛▲實業中川の遊匍津田捕邪飛、宮武一邪飛
△第二回 滿俱片岡二匍、上條三匍、古味投匍▲實業渡邊投飮匍失に出たが岩瀨三振後木下の二匍に封殺され木下投手牽制球に徒死
△第三回 滿俱疋田二壘左に單打し兒玉の一側バントで二進、綠川左前テキサス、吉野三遊間單打に一死滿壘となつたが、高須投匍して本壘に走つた疋田と共に併殺を喫す▲實業源川右越二壘打に出たが安藤(弟)の二直を上條地上寸前に巧捕して源川を併殺、中島四球、中川二飛失に中島二進、更に中島、中川の重盜成つたが津田中飛
△第四回 滿俱芥田中前直球單打片岡右飛、上條三壘右を抜き芥田二進、古味三振、疋田二一二の時捕手落球に走者二三盜した が疋田三振▲實業宮武遊匍、渡邊中飛、岩瀨の投匍兒玉のグラブを彈いたが三壘手巧にカバーして一壘に刺す
△第五回 滿俱兒玉三振後、綠川二越單打に出て吉野の一點を擧げ…和田(高須に代る)三振の際三盜したが、芥田三邪飛▲(滿俱高須退き綠川左翼、右翼に入る)木下三匍、源川…
△第六回 滿俱片岡中飛、上條四球に出たが古味四球に二盜に死し、古味四球に疋田の左翼左を抜く三壘打…

補助金 貸付金を增額
農家の出資額引下げ
移住農作適任者の希望に添ふ
大連農事が規則改正

かれて向ふ五ケ年計畫を以て關東州内に五百戸の純農家と三千町歩の良田畠を得るプラーンの下に活躍中の大連農事會社の業績は昨年の移住農家五十餘戸に及び引續き内地或は在留者にして農業經營の意志堅固にして眞に滿洲天地に農業開發をなさんとする適農家を選んで

渡航費

乃至事業費の補助等をなし着々移住農民の實を擧げつゝあり、最近に於ては既報の如く拓務省に於ても明六年度より右移住農民獎勵のためその汽車、汽船賃の五割補助を開始する等の氣運となり前途を刮目さるゝに至つたが、何をいふも大連農事會社の現在規則に依れば移住農民は自作農で三千三百圓、借地農で一千百九十八圓の手持金が必要とする爲め目下財界不況の折とて

折角の

適任者も右の資金なく移住不能となる向きが多いよつて同社では今般この手持金を自作農千七百圓、借地農は五百圓に低下して同額の資金さへあれば何時にても移民出來るやう會社規則第十號を改正して自作農に對しては從來の土地代當初拂込全額の八分の一とありしを二十分の一に更に長期貸付金當初より年五百圓とありしを一千圓とし、また借地農に對しては同樣九百五十圓の貸付年額を千二百圓にそれぐ改め會社の補助金乃至貸付金を增額して農家出資金低下の

方法を

はかることゝしたが、立案に依れば移住廿五年後に於ける農家一戸當りの資産は自作農は一萬六千圓を利益し八町歩耕地が自分の物となり借地農は九千六百六十圓の金を蓄積することが出來るさ

滿鐵、大俱とも學生軍に慘敗
工專30—3大連滿鐵
工大17—6大連俱樂部
ラグビー戰の成績

ラグビーシーズンの劈頭戰たる大連滿鐵對工專及び大連俱樂部對工大の二戰は十四日午後二時及び三時二十分よりそれぐ大連運動場に於て擧行されたが、前者は三十對三で大連滿鐵慘敗し、後者は十七對六で大連俱樂部敗れいづれも學生チームの勝利となる戰跡左の如し

工專 30 (19—0 / 13—3) 3 滿鐵

(主審渡邊氏、線審柏原、岩田兩氏)

前半 滿鐵トスに勝ちキックオフ工專プール側に陣す▲三分滿鐵左二十五碼内に入りルーズの球平田島瀨高橋と渡つてトライゴール成らず▲工專直に二十五碼内に入り十四分左フラッグ附近まで攻め寄りラインアップの球を吉田もぐつてトライゴール成らず▲二十分工專吉田再びトライゴール成らず▲工專終始壓迫を續け二十九分左フラッグポスト間のルーズの球を高瀨もぐつてトライゴール成る

後半 四分工專中央ルーズよりの球ドリブルとなりFBの逸球を得て高瀨トライゴール成らず▲工專六分中央右よりの球キックしたるを得藤島獨走トライゴール成る▲二十二分ゴール前の五碼スクラムより滿鐵古瀨球を得てキックしたるも敵に當り跳返され中村トライゴール成らず▲二十九分二十五碼のスクラム工專得てTB左にパスし藤島ポスト直下にトライゴール成る▲三十一分工專中央線よりのキックしたる球を得て奥トライゴール成る

工大 17 (11—0 / 6—6) 6 大俱

(主審星名氏、線審大石、宮田兩氏)

前半 工大トスに勝ち、大俱プール側に大俱キックオフ一進一退二十分工大敵の二十碼ルーズの球を得てトライ▲二十六分…ルーズの球を大俱石川得獨走中央にトライゴール成らず▲二十一分中央ルーズの球を得工大ドリブルに轉じポスト直下にトライ▲廿二分七十碼より工大TB左から右にリターンパスしポスト直下にトライゴール成る▲二十八分大俱敵の右十五碼ルーズの球立上得黑田に渡つて右フラッグ附近にトライゴールならず

後半 工大敵二十碼内のルーズの球を得てまたトライゴール成らず▲十一分工大敵五碼のラインアップよりの球を得てトライゴール成らず▲十三分中央邊…

	(工專)		(滿鐵)
FW	村本崎田村瀨宅田山田		野岡田保田邊月田井瀨川瀨橋村倉
HB	中松宮横中高三		中松平新安渡上
TB	吉西武奥繩藤松		關浦古金島高今高
FB	田島木		

	(工大)		(大俱)
FW	盛田内藤原井田澤中谷藤井見林林		野酒内安黑幡有新岡
HB	小津木伊國石福大田長佐荒永栗小		口井田中田澤田城島 桂
TB			上川川田上 井石小柳立
FB			

札來諾爾の採掘不能
從業員も轉業

【奉天特電十四日發】滿洲里來電によれば最近ハルピン方面において…ザライノール炭礦復活説が傳へられてゐる模樣であるが同炭礦は昨秋の露支紛爭の際機械設備は取外し或は毀損したまゝ未だ修理されてゐず殊に發電所は使用不可能に破壞されてゐるので同炭礦の採掘復活は殆ど不可能とされ露支從業員も見極めを附けてタルバカン捕獲及び漁業に轉業してザライノールを引上げる者が少くないなほ同礦の露天掘二ケ所は近來支那人の盜掘が盛んなので支那側當局は巡警を派して監視せしめてゐる

愛讀者奉仕の福引景品引換へ
五千の幸運者へ告ぐ

一、御當籤の方へは本月中に本社に於て福引券と引換へに渡し致します
二、地方御當籤の七等以下は十月一日より本紙販賣店に於てお引換へ下さい ますから最寄販賣店に於てお引換へ下さい
三、但し右引換は十一月三十日を期限と致します
四、抽籤洩れの愛讀者への記念品は十月中旬頃より…

滿洲日報社

おらが大連の成長を語る (14)
横に縱に…華やか
伸びゆく近代的建築物
廿五年間建物につぎ込んだお金
約一億四千萬圓也

都市建築物の立體的美は都會人の神經へ新しい美學を生み出した、それは音樂の中に浮動する構圖であり、今日の音樂のうちに、繪畫のうちにまでわれぐは近代の都市美學から生み出された藝術をみる樣になつた。

◇…………◇

數年來、大連にめきぐと建つた新しい大建築物は燦爛に滲透い塀ぬけのしなかつ…大連の衣更へをして颯爽スマートな都會相貌に變へてしまつた、常盤橋畔の夜、百八尺の摩天樓が空間を區切つて、ビロードの夜の闇に七階までの窓の燈が象嵌した樣にきらぐと搖めく美しさは都會人の神經にうずく樣な快感を與へさせる、立體的に擴がつたこのビルディングに…つてこれはまた平面的なおちつきを見せた連鎖商店の軒並、走るス…

張りものする女 秋の陽短かし

滿洲日報
夕刊　九月十四日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

必ず御批准されると 政府の態度益々强硬

樞府との對立上奏に至れば 元老の支持を信ず

【東京特電十四日發】政府對樞府は補充計畫の數字提示問題で對立狀態に陷り樞府は政府が飽くまで補充計畫の具體的説明を拒絶するにおいては條約の審査を不可または返上、延期いづれにしてもこれを委員會から本會議に移し本會議において、これを可決すれば、この際政府も反對上奏をなして聖斷を仰ぐことになつてゐるので、若し樞府が審査不可を答申すれば政府、樞府が同時に對立上奏がなさるゝ譯である、この際における政府の反對上奏の趣旨は樞府の態度は事實上、條約の否決と同樣の意味を有するものであることを奏上してロンドン條約は國際協調の精神から觀ても國民負擔輕減の立場から觀ても御批准あらせらるべきものたることを具して聖斷を仰ぐことになつてゐるが、事こゝに至らば必ずや畏きあたりにおかせられては元老重臣に對しこれを御下問あらせらるゝであらう、從つてこの時における元老重臣の態度は最も注目されてゐるが、これに關し政府側の觀るところでは元老重臣方面の意向はロンドン條約は必ず御批准さるべきものとして寧ろ政府を支持するの態度に出るものと觀てゐる、殊に西園寺公の如きは條約は必ず御批准せらるべきものであるとの牢固なる決意を抱き憲政の運用と國際協調の立場から飽くまで政府の主張に同意してゐることを信じ今度こそ樞府に對して强硬な態度で臨んでゐる譯である、從つて政府は事、對立上奏に立ち至らば條約は必ず御批准されるに相違ないとの確信から一歩も退かない決心を堅めてゐるが、一方樞府側も對立上奏の際には相當の確信ありと稱してゐるやうだから、その成行は注目されてゐる

反對上奏を決意 政府側の對策協議

【東京十四日發電通】樞府は十五日の委員會に依然强硬意見を持して臨むものと見られるので濱口首相は鎌倉の週末靜養も中止して十三日午後五時より鈴木翰長川崎法制局長官を招き二時間に亘りこれが對策準備につき協議を重ねたが、この結果

一、審議を休止するに於ては財界不安定、國際信義の上から期限を附して審議を要求す

一、樞府が飽くまで數字的説明を要求し資料提出を要求するは權限を越えたる處爲にして憲政の本義に顧みてその要求を拒絶する事

一、樞府は參考資料不提出の理由を以つて審議不能の擧に出でこれを奉答せんと傳へられてゐるがこれに對する政府の所信及び措置としては樞府事務規定第三條に樞府は政府の提出する材料に依つて其の可否を決定し奉答すべきものである事を規定せられてゐる又憲法義解五十六條においては顧問官の職守は可否を檢替し必ず中正を持して隱避する處なく云々又同條にその（樞府）意見の裁決は一に至尊の聖裁によるのみ、との明文に基いて審議不能は消極的否決なりと解釋して其の處置を執るものである

一、即ち政府は國務大臣として補弼の責任に於て反對上奏を行ひ該條約案の成立を期するもので此の態度方針は從來と何等變改する處はない

と云ふに決定したが事實問題として事態が反對上奏にまで及ぶ事は其の聖裁の如何に依つて政府又は樞府何れかに重大なる影響を與ふるものであるから恐らく樞府としても此の點は考慮を重ねてゐるものではないかと見られてゐる

可否決定に相當日數を要す

十五日に質問を打切つても 直ちに態度は決らぬ

【東京十三日發電通】樞府委員會の形勢は混沌たる内に推移してをり、樞府側の硬論説も政府側の好轉説も何れも決定的ではない、而して樞府委員中にても田、水町兩顧問官は贊告附條約案通過説者であり金子子も必ずしも絶對反對ではないと言はれてゐる、委員外顧問官にては石井子、富井男、織田大將等も本案贊成論者で、若し決選投票となれば閣僚全部に之等贊成論者の顧問官を加へて或は贊成論者の方が捷ちを制するやも知れぬと見られる程である、然し樞府の慣例として委員會も本會議も全會一致の態度を採るを常としてゐるから今回も決選投票とはなるまいが、可決にしても否決にしても、之に一致する迄には相當論議が府内に行はれるべく、十五日に質問打切となるも直に可否の態度を委員會が決する事は困難なるべく見られてゐる

秋の點景

日曜閑話

秋の音づれ 時代の流れにも反省を閃めかす……

李太白の如く夫天地者萬物之逆旅、光陰者百代之過客、而浮世若夢、爲歡幾何、といふてもわれわれ日本人にはピンと來ぬ憾みがある。やはり芭蕉のやうに月日は百代の過客にして、行かふ年も又旅人也。舟の上に生涯をうかべ、馬の口とらえて老をむかふる物は、日々旅にして旅を栖とす。古人も多く旅に死せるあり。予もいづれの年よりか片雲の風にさそはれて漂泊の思ひやまず。海濱にさすらへ、去年の秋、江上の破屋に蜘蛛の古巣をはらひて云々と來ると、何となく秋といふものと日本人といふものとを結びつけるやうな感が深い。漢の武帝の秋風起兮白雲飛、艸木黄落兮鴈南歸とあつては餘りに大雑把で、秋のさびしみを感得するといふ譯には行かぬ。歐陽永叔の秋聲賦 歐陽子方夜讀書、聞有聲自西南來者、悚然而聽之曰、異哉、初淅瀝以蕭颯、忽奔騰而砰湃、如波濤夜驚、風雨驟至、其觸於物也、鏦々錚々、金鐵皆鳴といふのでは、忍び寄る秋の心持ちを傳へることは出來ぬ。餘りに白髮三千丈的である。そして日本の秋は、支那大陸の秋の如く、蕭殺荒涼、摧敗零落せしむるものとは異る。日本の秋の歩みは、相當のユトリがあり、枝もたわわに置く露のうるほひがある。

×　×

われら日本人の心の奥底には、西行や芭蕉などが辿つたやうな秋の心とでもいふやうなものが傳統的に、遺傳的に流れてゐるのではあるまいか。春から夏にかけ、あわただしく過ごして來たものも、この秋に入ると、襟を正さざるを得ないやうに、吾も人も秋の心に透徹せざるを得ないのではあるまいか。

花々しい物質文明の世界においても、この秋の心といふやうなものが、往々にして頭を擡げるのを見るのである。近頃、若い文士の人々にして二三、佛門に入るなどといふことは、この秋の心の傳統に還元せんとするものではあるまいか。そこに東洋的な、否、日本的な反省がありといへやう。

カフエだジャズだと騒々しい半面に、この秋にあつて、われわれの心の奧底に流れてゐる秋の心が、よし、それが自覺的でなくとも、しみじみと頭を擡げ來ぬであらうか。

行雲流水、必ずしも世捨人にならずとも、秋を悲しむ、否、賞するところの「さびしみ」を詠ずる俳人「もの、哀れ」を感ずる歌人となる心境が、われわれの心の奥底に絡みつけられてゐるのではあるまいか。

西行の山家集、われらに少しく生活樣式の縁遠きを感ぜしめぬでもない、芭蕉の「奥の細道」に至つては、簡素な、われわれの祖先の辿つた道が、一種の親しさを以て讀まれる。しかも諦觀的でなく、ただ、しみじみと純眞な、われらの祖先の生活が感ぜられる。

×　×

世は進み、花々しい世界は、われらの眼前に展開せられるけれども、物の哀れ、心のさびしみを鑑賞する東洋的、否、日本的な藝術心理は、われらの心の底から拂拭し去ることは到底、不可能のことではあるまいか（一記者）

審議不能に關して 岡田顧問官の反對意見

愈よ精査委員で決定すれば 本會議で論戰

【東京特電十三日發】ロンドン條約の樞府精査委員會の大勢は既に去る十日の第九回委員會以來漸次審議不能に傾き今後政府側から進んで補充計畫並に減税を中心とする財政計畫の準備を鑑へるため審議を遠慮せられたいとの懇請なき限り條約承認の條件材料不備を理由として愈々最後の決意をなし、審査不能に委員會の態度を決する模樣であるが、この審査不能に對しては委員外顧問官中に疑義を抱く者あり就中岡田顧問官の如きは精査委員會は政府の提出した審査資料に基いて條約が御批准されて可なりや否やを決すれば足るものである、然るに審査は不可能であると云ふのは樞府として其職責を全うするものでは斷じてない、國民負擔額の輕減は目下政府に於て其具體的實施案を立案中であり樞府はそれが實現に對し政府を信頼するのが當然であつて立案中の具體案提示を迫るのは樞府としては程度を超えた越權の沙汰である、殊に條約兵力量に關する軍事參議會の奉答文提示を强要することも亦越權である、政府が帷幄の軍機、軍令の機密に屬するとの理由でその提示を拒絶するのは當然であるとの意見を有し若し精査委員會が審査不能なりとの報告書を作成して本會議に臨むことゝなれば岡田顧問官は敢然起つて右の趣旨に於て委員長の報告に反對するに至るべく必然審査不能に關する激烈なる論戰が免れ難き形勢である

文書戰に言論戰に 漸く選擧氣分動き出す

各候補の色分けと選擧事務所 全く混沌たる形勢

大連市會議員の補缺選擧は六名の補缺に對し芦刈、高塚、岡野、乘井、熊谷、吉田、矢野、木原、五十崎の九氏立候補し互に轡を並べ胸に

必勝 を期して逐鹿戰場に征馬を進める事になつたが、定員を超過する事三名、相當激戰は免れざるべくそれを支持する現市議各派も寄々會合し秘策を廻らしてゐる、卽ち芦刈、高塚、吉田の三候補は中正倶樂部、岡野、熊谷、矢野、木原の四候補は革新倶樂部これを支持し乘井、五十崎の兩候補は中立を標榜し各々市民有權者に向つて「信」を問ふてゐる、右の中芦刈氏は磐城町東亞物産に事務所を置き既に文書、言論の

火蓋 を切つて落し十四日午後七時からも沙河口劇場において第二回の政見發表演説會を開き引續き各小學校倶樂部に於て十九日夜まで言論戰で戰ふ事になつてゐるが高塚氏は吉野町方外軒に事務所を置き十五日午後七時常盤小學校に於て政見發表の第一聲を擧げると共に引續き十九日までこれまた言論戰でヒタ押しに押して行く戰法、吉田氏は自宅を選擧事務所とし乘出が遲かつた丈けにそれまで手順が進まず目下新戰術を考究中とある、岡野氏も自宅を選擧事務所となし

言論 で進む可く、熊谷氏は滿蒙土地會社を選擧事務所とし十七日夜沙河口大日活で言論戰の第一頁を飾る段取り、矢野氏は丹後町革新倶樂部、木原氏は近江町小田澄道方、乘井氏は西廣場土田寫眞館にそれぞれ選擧事務所を設き五十崎氏は自宅を選擧事務所として作戰の陣容を整へてゐる、何れにしても三名の落伍者を出す事は免れないが果して何人が當選するか、何人が落選するか、當落の

勝敗 は今の處全く豫想されず文書、言論の戰術は益々濃度を增し日にく激戰となつて行く

滿鐵當面の諸問題を語る

拓務省に報告した後 大平副總裁、記者團と會見

【東京特電十三日發】大平滿鐵副總裁は十三日午前十一時拓務省に松田拓相、小村次官、殖田殖産局長等を訪問して上京の挨拶をなし最近の滿鐵業務、本年度の減收對策、傍系會社の整理經過等について報告するところあり正午辭去、外務省に幣原外相を訪問して同じく上京の挨拶をなし、午後帝國ホテルに伊澤多喜男氏の來訪を受けたる後滿鐵出入の新聞記者と會見したが、滿鐵當面の諸問題につき各種の質問に對し左の如く語つた

世界的不況 並びに銀相場の低落に伴ひ滿鐵もその影響をまぬがれず本年度において相當減收を來すのは事實である、故に滿鐵ではこれが對策として社業全般に亘り經營の合理化、諸經費の緊縮、能率增進等を計ることにし、すでに着々これを實行してゐる、先に職制改革による人員整理を斷行し出來るだけ冗費の節約に努めて結局本年度においては少なくとも五、六百萬圓の經費を豫定よりも減少せしむることが出來る見込みである、滿鐵の收益減收に伴ひ内地市場では

今期決濟の 減配説が大分傳はつてゐる樣だが、本年度の實績は大體に於て一、今後に於ける石炭の賣れ行きが豫期してゐる通り行くかどうか、二、本年の農作物が平年通りの作柄を示すかどうか等によつて決まることでこれらのことさへ豫想通り行くならば大して減配せねばならぬ必要はあるまい、市場筋等では三分減の八分配當といふ極端な説さへ傳へるものもあるが、石炭は六百八十萬噸見當の生産で賣値も相當安く見積つてあるから非常なパニックでも突發しない限り豫期以上の減收を示すこともあるまいし、又一方二千萬圓以上の

減收を豫想 されてゐる鐵道もその對策として支出の減少を計つてゐるからかたぐ\事業の全般に亘つて收支の事情を考へて見れば三分減配等といふ極端な問題は起るまい、恐らく一分減卽ち一割配當は出來るのではあるまいかと思つてゐる、經費の緊縮に關聯し滿鐵第二次の人員整理等の説も傳はつてゐる樣だがこれは當事者として今のところ全然考へてもゐない、傍系會社の整理問題は所謂傍系會社と云はれるもの五十餘社のうち株の半數以上を滿鐵で持つてゐるのは二十六、七社であるが、それ等の整理はそれぐ\當會社の

首腦者に命 じてこれを實行せしめつゝあり、すでに國際運輸と大汽だけは整理を發表した、傍系會社の整理といつても二通りあり、その一は本社に還元するもの、その二はそのまゝ整理するもの等であるが、何れも既に人員整理其の他の方針は決まつてゐるので何れも方針通り實行される筈である、十一月上旬仙石總裁上京までには勿論完了するであらうと思ふ、支那鐵道の滿鐵壓迫といふ樣なことがよくいはれてゐるが、これも滿鐵減收の原因の一つに數へるのは間違ひである、なるほど近來

支那鐵道が 大分方々に建設され若しくは計畫されてゐるが、それ等が滿鐵を脅威するのは例へ實現しても相當遠い將來であらう、銀安のため貨物を支那鐵道に奪はれるといふのもすこぶる地方的、局部的であり大した影響はない、從つてこれが對策として鐵道賃銀引き下げ等することも今の所何等考へてゐない、たゞ開原等局部的には土地繁榮維持策として運送業者等が手數料の引き下げを行つてゐる事實はある、しかし滿鐵としては決して惰眠をむさぼつてゐる譯ではないことはいふまでもない

昭和製鋼所 の問題は御承知の通り斯道の權威者に委囑して多獅島築港の調査を行つたその調査報告並びに意見は仙石總裁の上京までに全部まとまる筈である、滿鐵としてはそれまでは全く白紙の狀態でこの問題の研究を續けてゐると思つてもらへばよい、社員理事登用説は滿鐵社員に人がないとか、採用せぬとかいふのではなく、適當な人さへあれば登用するといふのが總裁の方針である、しかしかりに社員から理事を採るとすれば誰を採るかといふことが問題で現在滿鐵には同じ程度の人が七、八人もあるからこの内から

誰を適任者 として選ぶかまた研究中だといふのが本當であらう、もつとも近くこれが實現するかどうかは何とも判らない

南北の決戰期迫まり 時局は更に複雜化

武漢は各方面の狙ふ處となり 山東には不戰聯盟

【北京特電十四日發】西北軍と中央軍の大決戰はじりじりと迫つてゐるが兵力、武器の點では中央軍が優り、實戰の經驗は西北軍の强味があり、このところ五分々々の戰ひである、なほその上李宗仁氏等の湖南の杭州に迫りし四川の將領等全部は反蔣の旗を擧げ武漢は各方面の狙ふところとなり、山東は兩三日以來韓復榘、馬鴻逵、石友三、安徽の陳調元氏等が秘密に不戰聯盟を策すなど、時局は頗る複雜化して來た

南北同時に 有力な和平運動

政治的解決をはかる

【北京特電十三日發】奉天に集つた韓復榘、劉春榮、石友三、孫殿英、劉珍年氏等の代表が寄々協議の結果張學良氏を動かして卽日停戰を行はしめ閻錫山氏は山西へ、馮玉祥氏は陝西へ、蔣介石氏は南京へ夫々引つ込み張學良氏は平津に乘出し以て時局の政治的解決を謀ることにしやうとする運動が頗る有力になつて來た、更に一方南京に於ては譚延闓、胡漢民、王寵惠氏らが東北の態度は不明であるが出兵して南京を助けることは不可能であり又武力解決を更に繼續することは政府として決して有利ではないから濟南の奪回を好機として政治的解決を圖ることが、最も妥當であると言ふに決定し蔣介石氏にこの意味を通告すると共に張群氏から張學良氏を動かすことになつたと傳へられてゐるが、東北の會議が斯かる空氣の漂ふ裡に果して如何なることを決議するか大いに注目されてゐる

歲出項目に整理の手を伸す

不合理なものを摘出して 主計局にて調査中

【東京特電十四日發】大藏省主計局に於ける明年度豫算概算の査定は愈々十五日から着手すべく準備を進めて居る、而してこれに先立ち既定經費の節約に就て總額一億二千萬圓に及ぶ私案を作成し計數の整理中であるが、主計局では更にこの機會に於て財政上可及的整理をなすことになり單なる節約又は冗費整理を斷行する外不合理なる歲出項目に對して整理の手を伸ばす方針で目下各省歲出の各款項に就いて摘出調査を進めてゐる、其目的とするところは前記の合理化の外に財源捻出の目的を有することは勿論だが、好景氣時に於ては到底整理不可能であるのみならず政治的に見ても絶好の機會であると見られてゐるが整理の目標となつてゐる特殊の項目は

一、陸軍委任經理の衣糧費
一、警察費團體支辨金
一、北海道拓殖費
一、震災復舊費、調査費
一、軍備改編費
一、一部の義務費に屬する補助費

其他可なり廣汎に亘る模樣でこれがため法規の改正も相當行はれると

各研究所と試驗所整理

具體案を協議

【東京十四日發電通】政府は明年度豫算節約のため轟に約百萬圓に達する委員會調査會費を整理する事に方針を決定し目下大藏省に於て具體的に調査中であるが、十三日の行政刷新委員會では更に各省の所管する數多の研究所及び試驗所を整理することに決定、具體案に就いて種々協議する處あ[illegible]個別的に調査すれば整理の餘地が[illegible]からず而してこれに關する經費は一千萬圓に達するので相當の財源を捻出し得る見込みである

莫全權 引揚げ説

【ハルビン特電十三日發】モスクワの露支正式會議は例へ開催されても重要問題は解決しまいと悲觀され莫全權は引揚げるさ

國際統計會議 十五日より開會

【東京十四日發電通】第十九回國際統計會議は來る十五日衆議院に於て秩父宮殿下台臨の下に開會式を擧行、引續き貴族院に於て會議を開くことゝなつた、出席者は各國の代表者會員等八十名、日本側を合し百五十餘名である

二上翰長打合 荒井委員と

【東京十四日發電通】二上樞府翰長は十三日午後三時荒井顧問官を訪問し十五日の委員會に臨む對策につき種々打ち合せをなす處があつた

渡邊法相と首相の懇談

【東京十四日發電通】渡邊法相は十四日午前九時五十分濱口首相を訪問樞府問題並に貴族院方面の情報を報告懇談した

決戰期は近い 幼丹氏歸連談

大連市鳴鶴臺一〇〇番地居住元安徽督軍倪嗣沖長男天津紡紗廠總理幼丹氏は所要を帶て赴燕中のところ十四日天津より入港の天潮丸にて歸連したが、氏は語る

南北兩派とも張學良氏抱込みに狂奔してゐるが、張學良の和平調電も何等効を奏する所なく從つて學良氏も四圍の事情から中立を嚴守することゝなり一方南方軍は津浦線に兵力を集中して一擧に北京を突く準備を急ぎつゝあるため閻、馮兩氏は南軍の津浦線進出を防禦すべく近く大軍の出動をなす筈であるから兩軍の大決戰期も遠くはあるまいと觀測されてゐる

天氣豫報

十五日（北西の風）曇後晴

各地溫度

	十一時	昨日最高
大連	二一、八	二五、〇
旅順	二四、二	二六、一
營口	一八、九	二六、〇
奉天	一八、四	二六、七
長春	一七、七	二六、五

滿潮（午前一時二十五分 午後一時三十分）
干潮（午前七時五十分 午後七時四十分）

乗物生活　寒―(C)―表

雄々し「タコマ市號」太平洋横斷の壯途へ
今曉五時九分、淋代を見事離陸　群衆狂喜のうちに

【古間木十四日發電通】霞ケ浦に於ける失敗以來十五日隠忍に隠忍を重ねて再擧の日を待つてゐたタコマ市號は遂に飛んだ、一九三〇年九月十四日午前五時九分、滿を持して放つた矢の様に日本北部の一僻村淋代の海岸を離れ太平洋五千哩の空目がけて隼の如く飛び去つた、その瞬間は

人類征服の歴史に輝く

記録となつて永遠に殘されるであらう太平洋の波音を間近に聞きながら日本における最後の一夜を海岸近くの民家で一眠したブロムリー、ゲッティ兩氏は午前二時早くも起床し兩氏とも身輕な背廣服を一着して二時四十分安野旅館を出で三時四十分淋代着、直に滑走臺のタコマ市號にかけつけ提灯の灯を頼りに出發の準備に着手した、出發と聞いて數里の夜道を近在から押寄せたモンペイ姿の頬冠りの在郷者、タコマ市號出發準備のため滑走路の地均しに滑走臺の建設に

涙ぐましい　奉仕と盡力

を續けた地元三澤村民等數百名が何れも感激と驚異の瞳を輝かしながらこれを見送る、やがて發動機の點檢その他準備を終つた、ブ・ゲ兩氏は見送りの田中航空官、海軍省航空本部三輪大尉、太田少佐、三澤村長らと固き握手を交し、更に村の群衆に向つて厚く感謝の言葉を述べたのちヒラリと機上の人となつた、大事を行ふものゝ深き

決意と微笑が二人の顔に浮ぶ、異常な緊張が邊りを包んだ「左様なら……「左様なら……」兩氏が機上から別れの手を振つたと思ふと轟然プロペラは廻轉を始め一同が狂喜して叫ぶ中を

五時七分……スタートは

切られ、朱色のタコマ市號は疾風の如く滑走臺を下つた、滑走約二千メートルの後見事に離陸し一路壯途に上つた、時に午前五時九分

(寫眞はブロムリー中尉、後方ゲッティ機關士と飛んだタコマ市號)

無事成功を祈る　田中航空官談

太平洋横斷飛行は是非成功させたいと最初から苦心してゐたがヤッと重荷を下した、最初滑走臺を降りる際機體が左に揺れたのでハッとしたがそれはタコマ市號はガソリン滿載すると左の車輪が一呎半ほど下る癖があるためであつた、四百二十五馬力の發動機に五噸半もの全重量で見事に離陸したのは新記録といつてもよい、滑走中可なり左右に動揺した様であるが下が軟弱だからやむを得ない次第である、霞ケ浦と比較すれば速力も非常に出てゐた滑走臺を作つて置いた事は有効だつたと思ふ、この上は無事目的を達する様禱つてゐる

二八・五―二三・五　奨學會敗る
對大連一中陸上競技

來る二十一日奉天教育トラックに於いて擧行される初等學校教員州內外對抗陸上競技の州內豫選會を兼ねた奨學會對大連一中の對抗陸上競技は十四日午前九時より州內の小學、公學堂の腕自慢の先生が集つて大連運動場に於て擧行されたが、日頃の腕前見せんものと各先生大活躍結局二八・五對二三・五で一中勝つ

▲百米　一着湊川(一中)二着深川(一中)三着趙(土佐町)
▲砲丸投　一等石丸(一中)二等加藤(一中)三等中村(春日)
▲四百米　一着石田(大正)二着幡田(一中)三着韓(西崗子)
▲走巾跳　一等湊川(一中)二等松木(沙河口)三等植本(下藤)
▲二百米　一等趙(土佐町)二着石田(大正)三着三浦(一中)
▲圓盤投　一等石丸(一中)二等中村(春日)三等加藤(一中)
▲千五百米　一着稲(旅順公)二着韓(西崗子)三着竹内(日本橋)
▲走高跳　一等湊川、田中(一中)三等驚見(下藤)山中(一中)
▲八百米繼走　一着 一中A組　二着 奨學會チーム　三着 一中B組

(得點)

	百米	砲丸投	四百米	走巾跳	二百米	圓盤投	千五百米	走高跳	八百繼走	計
奨學會	1	1	4	3	5	4	6	05	0	225
一中	5	5	2	3	1	4	0	55	3	285

鮮銀浦鹽支店事件　一切を外交々渉に
ロシヤに嚴重抗議

【東京十四日發電通】ロシヤ政府の鮮銀浦鹽支店檢査の結果は遂にハバロフスク財務全權の鮮銀露貨自由賣買停止となつて現るゝに至つたので問題は一切外交々渉に移し勞農ロシヤ政府に嚴重なる抗議を提出する筈、大藏省關場銀行局長は十三日午後五時加藤鮮銀總裁を招致しロシヤに對する抗議の論點につき約一時間にわたり協議するところがあつた

露貨自由賣買は鮮銀支店の特權

【東京十四日發電通】浦鹽鮮銀露貨賣買停止問題につき大藏省當局並に鮮銀側の主張するところによればそも〳〵鮮銀浦鹽支店の露貨自由賣買は一千九百二十八年の財務人民委員會訓令によつて特許を得てゐるもので、この特許文中には露貨賣買を時價によるべからずとの規定はないから露貨自由賣買は鮮銀の特權であるといふにあり、對露抗議も右の主張を根本主張として行はれる模様である

ロシヤの暴擧　何のためか
財政窮乏が生んだ苦るしい收入增加策

【東京特電十四日發】露國の鮮銀浦鹽支店檢査は七月十一日以來二ケ月間續けられてゐたが、遂に本月十二日附をもつて露貨自由賣買禁止を發令するに至つた、この露貨賣買に對する露國の壓迫は東支鐵道人のブローカーのみに限られてゐたがつぎに日本人ブローカーに及び最後に鮮銀まで來たわけで、これまで同行の有してゐた

特權は　こゝにおいて國法として禁止されることになつたわけである、從つてこれは目下我經濟界の重大問題として輿論沸騰し政府も嚴重抗議を提出せんとしてゐるが、そも〳〵その事の起りといふのは次の如くである、財政窮乏に陷つてゐるロシヤ政府は何んとか增收を圖りたいと先づ目をつけたのが漁業權の國營、然しこれは條約による既得權として毎年出漁する日本が大いに邪魔になる、そこで既得權の剝奪は容易に出來ないがその

追拂策　としてかの有名なる島德藏氏の漁區入札から氣の付いたのが鮮銀のルーブル紙幣の賣買禁止だ、卽ち露貨の對外價値は非常に低く、普通ならば一ルーブル我一圓でなければならぬが今は四分の一の二十五錢見當に落ちてゐる、これがためルーブルで仕拂はれる日本の漁區入札料は實際の四分の一で事足るわけから、これを平價通りにすれば一躍三倍以上の增加となる勘定、そこで日本のため露國內で合法的ルーブル買占に當つてゐる鮮人を

壓迫し　一氣にその供給の途を絶たうといふ寸法で、いろ〳〵な手段を盡すことになり、無論鮮銀の家宅捜査、その以後に於ける檢査の續行、さては賣買禁止といふ暴擧に出でたといふ次第、その結果日本側が大打撃を蒙るはいふまでもなく、茲に抗議提出となつたといふのである、しかし影響は日本のみでなく露國も同様の影響をうけ圓とルーブルとの交換の途が絶ゆれば日本よりの輸入資金調達に一大支障を生ずるは當然の話、元來國によつて異る貨幣制度をもつてゐる以上

爲替の　開きが存在するは當然で、露貨の賣買禁止は經濟法則上から見て出來るものでないとはいへ何しろ露國は他の國と異つて統制的經濟を行つてゐる國柄であるから勢ひの赴くところはどこまで押通さうといふのであらう、この暴擧をうけた加藤鮮銀總裁は「こんなやり方に對しては飽くまで强硬な態度に出づべきだ」と力めば大藏當局も「斷然默認出來ぬ」と頑張つてゐる、北洋漁業者對露貿易者は

頭に火　がついたので承知出來ず「露國がこの儘無理押しするやうなら、當方も通商代表に加勢して極東銀行の營業禁止を行ひ報復手段を執る」と敦圉いてゐるさてこれに對し幣原外相が如何なる措置に出づるか見ものである

ハルビン飛行場いよ〳〵擴張
國際航空路の發達に伴つて　檢査委員會をも組織

【ハルビン特電十四日發】國際航空路の發達に伴ひ自然ハルビンが滿洲における着陸場としてヨーロッパ諸國に知られることになり、支那側としても國際航空路設定の必要から飛行場の設備を完備せねばならぬとの意見でこの秋は郊外飛行場の擴張を決行することになつたが、吉林交涉局の羅振邦委員は語る

從來歐洲から東洋に飛來の飛機檢査については護路軍司令部副官處一部の機體檢査で通過を

許可し　てゐたが、最近フランスのコスト機が飛來してより、日本の吉原、東兩氏の歐亞連絡の飛行あり、ます〳〵ハルビンが國際航空路の東洋における一地點となる傾向にあるので特別區管下として飛行機檢査委員會を組織し試辨章程のもとに一切の國際飛機の檢査を施行することになつた、委員は護路軍側と行政長官公署、警察管理局、吉林交涉局、稅關の

五機關　から任命されるそれで外國飛行機がハルビンに着陸する場合、交涉局に申請すれば交涉當局に申達しその許可のあり次第、交涉局から各機關の委員に通告し準備をすることになつてゐる

眼の中に映るものは　火事・火事・火事
ナス管一つに生命を繋ぐ輕業師　粋で勇な紅焔の勇士

馬車を、俥を、人を、あらゆる街衢の點景を吹き飛ばし、ひたむきな強聲を連呼するサイレンの豪響の餘韻を殘して街の彼方に燃え熾る火柱に疾風の早さで飛びかゝつて行く巨大な赤塗り自動車、――夜打ち仕度のやうに刺子の防火帽子を被り、油汚みたバンドにブラ下つたニッケル鍍金の筒口、粋で勇みな「紅焔の勇者」は必死に握りしめた桿杆の中に滲み出る汗を感じ乍ら火焔の中に亂舞する數秒後の彼自身を裂かれゆく空氣の中に描いて身震ひする

▽――△

都市を、人命を、財産を死守する爲めに驀進する消防自動車は、天下公許の「操捨御免」を許されてゐる、一時間三十哩――市外に出れば五十哩は飛ばせる――の疾驅でも、行手に火花を散らす火柱を眺めては決して速いとは感じない、グッと腰を落してこの手押しサイレンに力を入れ、グルッ〳〵と二、三回轉すると、人も、馬も、電車さへも跳れ飛んでしまふッていふ氣持ですれ、兎に角、眞紅な火柱がむしやうな目當てで、眼の中に映るものは火事、火事、火事だけなんですよ

▽――△

爆發するやうな火災報知のサイレンが響いてから、消防署員が各自の分擔を負つて赤い自動車の荷物となる迄に二十秒、市中の火事なら二分あればチャーンと火災現場へ行けるといふから恐ろしい超スピードだ

消防自動車の梯子ですか？全長八十尺、埠頭ビルの火事には丁度ビルデングのルーフへ消防手の頭が届く位の高さまで延びました、ホースを持つてゐるので水壓の爲めにトップに身體を縛りつけてゐる筒持ちがゆらり揺れて、將に中空に泳ぐッていふ感じでしたよ

▽――△

自動車の背中から四段の梯子が延び切つて、それへ攀ぢ登る眞黒な消防夫、眼下に群蟻のやうに散つてゆく人々を見下すと瞬の眞ン中に白金の針を突き刺された感じだナス管一本に二十貫の身體を支へて、水壓がヅシン〳〵と脈動する筒先を握る、消し口を變へる時、ライデング・ラダーの突端は八十八尺の中空に前後左右五尺の空間を泳ぎまはるのだ。ナス管一箇に繋がつた生命――火焔裡の輕業師

【寫眞はスワ火事で出動する勇ましい消防署員の勢揃ひ】

四洮線のペスト

【ハルビン特電十三日發】ペストの發生地は洮南を去る百支里の突泉水原で、同地では去る四日から一日平均七名の割で感染し終熄しないが別に今の處では四洮線の運行を休止する必要はないと

愛讀者奉仕の福引一等賞品
山崎運送店新聞部の申出で　市役所を通じて寄附

本紙創刊廿五周年並に社屋新築落成記念の愛讀者奉仕の大福引一等賞品は山崎運送店新聞部に當つたが、同新聞部はわが滿洲日報の取次販賣店である關係上、主人山崎靖吉氏は今回の籤引は滿日の讀者奉仕の意味に於てなされたもので、これを公共機關へ寄附したいと申出た、よつて我社はその意を諒とし贊同の結果、大連市役所を經て然るべき所へ寄附することになつた【寫眞は一等賞品のビクトロラと寄附を申出た山崎靖吉と同新聞部】

省線追突原因
ブレーキが利かなかつた

【東京十四日發電通】省線椿事の原因については目下調査中であるが追突當時の狀況は蒲田行(八輛編成)が有樂町發後帝國ホテル裏に停車してゐるところへ、山ノ手線(四輛編成)が進行し來り、更に蒲田行の後方相當距離に停車待合せ中の櫻木町行(八輛編成)が進行し來りブレーキを掛けたが間に合はず山ノ手行に追突、山ノ手行は更に蒲田行に追突して三重衝突となつたもので二名重傷他は何れも輕傷である

三百名が折詰中毒
岩手縣愛國婦人會の騒ぎ

【盛岡十四日發電通】愛國婦人會岩手支部では十二日東伏見宮大妃殿下の台臨を仰ぎ支部大會を催したが、正午縣公會堂における祝宴に出席した約三百名は折詰の卵焼と蒲鉾の中毒で十二日夜から十三日朝にかけて腹痛嘔吐を催し中には重態に陷り入院せるものあり當局は大狼狽してゐる

ドエーク優勝
全米庭球單試合

【フオレストヒル十三日發電通】全米庭球シングルス決勝でドエークが優勝した

ドエーク　一〇―八　一―六　六―四　一六―一四　シールヅ

一樹會演能會
廿四日に開催

一樹會にては來る廿四日秋季皇靈祭に午前九時から大連海務協會海員集會所にて秋季演能會を催すが番組は左の如くである
▲能　山姥、楊貴妃、松風、小鍛冶▲囃子　春日龍神、實盛、六浦、小督、唐船、紅葉狩▲狂言　筑紫奥、連歌盗人、井杭

岳諷會

來る十五日夜市內若狭町二滿電倶樂部に於て第七十二回例會を催する由番組は三輪、烏帽子折、井筒、蟬丸、猩々、番外紋上等にて來賓歡迎すると

侠艶一代男

米田華紅作　伊藤幾久藏畫

お千賀の行方(十二)

「とんでもねえ」と、道玄は狼狽て、お千賀の歸心矢のやうに見える瞳を押へつけ、退けて「そんな無法なことは出來ねえよ。石上さま許りか？お前さんのお父さんの依田さまから、くれ〴〵も俺が今夜は頼まれた。遅いうへに若い娘の一人歩きは時節柄物騒だし、擴ら娘が戻るとせがんでも、是非一晩は泊めて、明朝早く歸つてくれとされ。そりやお前さんも家へ戻りたからうが、百里二百里と離れた所ぢやなし、つい眼と鼻の所だ。それに夜が明けるのも間もねえことだし、お前さんにしたつて十や十一の小娘ぢやねえ、廿歳にもなれば一人前、これ位の辛抱の出來ねえこともございますめえ」

「ですが、何となく氣懸りでなりませぬ」

お千賀は、道玄の様子と云ひ、後に突立つてゐる老婆と云ひ、不安の疑念を深くした。

「まアいいやれ心配しなさんな」

「でも私は戻して頂きたうござんす」

お千賀の眼底に涙が一杯溜つてゐた。

「判らねえ娘だな。今もいふ通りお前さんの親爺から頼まれたと云つてるぢやねえか？」

道玄は面倒臭さうに言葉を荒立てた。

お千賀は、この様子に取りつく島も無いやうにおろ〳〵して、いぢらしく

「はい、済みませんでした」

「ヘッヘヽヽヽ、何も謝罪まることはねえ。謝るには謝られえよ。あんまりお前さんが遮二無二歸らうと云ふんでね。つい、その何だ、日頃の氣短で、荒い言葉を吐してしまつたのだ。何も氣にかけることはねえ、本當に心配しなさんな」

「はい！」と、俯いたお千賀の瞳から、溢りかれた熱い涙がほろ〳〵と溢れた。

「小父さん。どうぞお頼み申します」

「あゝいゝとも！」と、道玄はニヤリと薄笑ひ、大きく頷いてみせた。

「道玄さん」と、この時まで默つてゐた老婆が「こんな殊勝らしい處女娘を……お前さんも隨分罪作りだねえ」

「何だと！」

道玄はカッと逆上氣味に睨み据ゑて「詰らねえことを云ふと承知しねえぞ」

「私ア盲目長屋にゐる娘なら、もつと阿婆擦れ者かと思つてゐたのさ」

「餘計なことを云ふな！それより手前、用が濟んだら室へ引き取つたらどうだ？」

「さうかい？この娘さんをあの室へ連れてかないでいゝんだね？」

老婆は嫌味交りに念を押した。

「うむ、さうよなア、まさか擴ら何でも俺が石上さまの代りにもなれめえし……」

「いゝ加減におし！夜も遅いんだから。室へ連れてくのかい？、それともどうするんだい？、今夜は傍へ引きつけて置く積りなのかね？」

「連れて行つてくれ！」

道玄が思ひ切つた風にキッパリ言ひ放つた。

「ではお嬢さん。あのお千賀さんとやら、私と一緒にお出で！」

老婆が薄氣味惡い猫撫で聲を立てた。

「お千賀さん、向ふの座敷で、今夜はゆつくりと睡みなせえ。話は明朝のことゝもてな」

「いえ、こゝで結構でござんす」

「[illegible]だつて、俺も寝なけりやならねえ。男と女を[illegible]にして何とやらでね。[illegible]ヽヽ、擴ら流石の俺だつて、綺麗なお千賀さんと一つ室に眠るのは氣懸りだ。なあいゝか」

「いえ私は起きて居ります」

「そんな判らねえ事を云はず、向ふへ行きな」

と、また恐らしい眼を向けたので

「あい」とお千賀は仕方なく、道玄へ「では小父さま、お休みなされまし」

「あいよ」と、嬉しさうに頷く道玄を後に、老婆と共に、その小座敷を出た。そして暗い廊下を元へ戻つてから、暫く經つて、立ち留まつた氣配の老婆が重さうな戸をごろ〳〵と、石臼をひくやうに開けて

「こゝに這入つてお出で！今すぐに灯を持つてきてあげるからな」

キネマと演藝　噂話

白藤愛光が大日活を辭めたさいふので果然映畫街にセンセーションを巻き起してゐる▲何が彼をそうさせたか？麻雀だと言ひ演曲だと言ひ、どちらにしろ香しくない▲變つた噂られたなんて愈々一九三〇年の映畫界でなくなる▲この前には他の館で解説中に舞臺から引ずりおろしたと傳へられた矢先だ▲お互にもつと自重して欲しいものだ、如才のない林サンがついてゐてどうした事か▲近く來演する中村正二郎の劍劇レヴユウ團に桃山妙子なぞが加入してゐる、昔懸しい人は誰だ

ラヂオ

大連 JQAK　九月十五日午後七時

▲ラヂオ體操
▲露語講座(第四十七課)大連語學校グロースマン
▲支那音樂と歌曲(一)音樂湘江怨(二)歌曲(イ)長記得(ロ)漂泊者(ハ)小妹々的心(ニ)落花流水明月歌舞團
▲筑前琵琶(龍の口)法命山水島旭山
▲長唄巽八景唄仙波夫人、三味線中村愛子
▲職業紹介事項
▲料理献立
▲天氣豫報

街の勇士 下加茂の高田浩吉昇進第一回主演作品として注目されてゐる、監督は小石榮一で助演者は若水絹子堀正夫鳳歌子【高演は高田浩吉と鳳歌子常盤館上映】

滿洲日報